

Android向けCitrix Workspaceアプリについて

Android向けCitrix Workspaceアプリを使用すると、タブレットや電話から仮想アプリやデスクトップにアクセスできます。デスクトップコンピューターの代替として、タブレットの低負荷利用向けにタッチ対応アプリにアクセスできます。

Android向けCitrix Workspaceアプリを更新またはインストールする推奨される方法は、Androidデバイスを使用してGoogle Playから行うことです。これにより、新しいバージョンが利用可能になったときにアプリを自動的に更新できます。

モバイルデバイスでアカウントを追加する

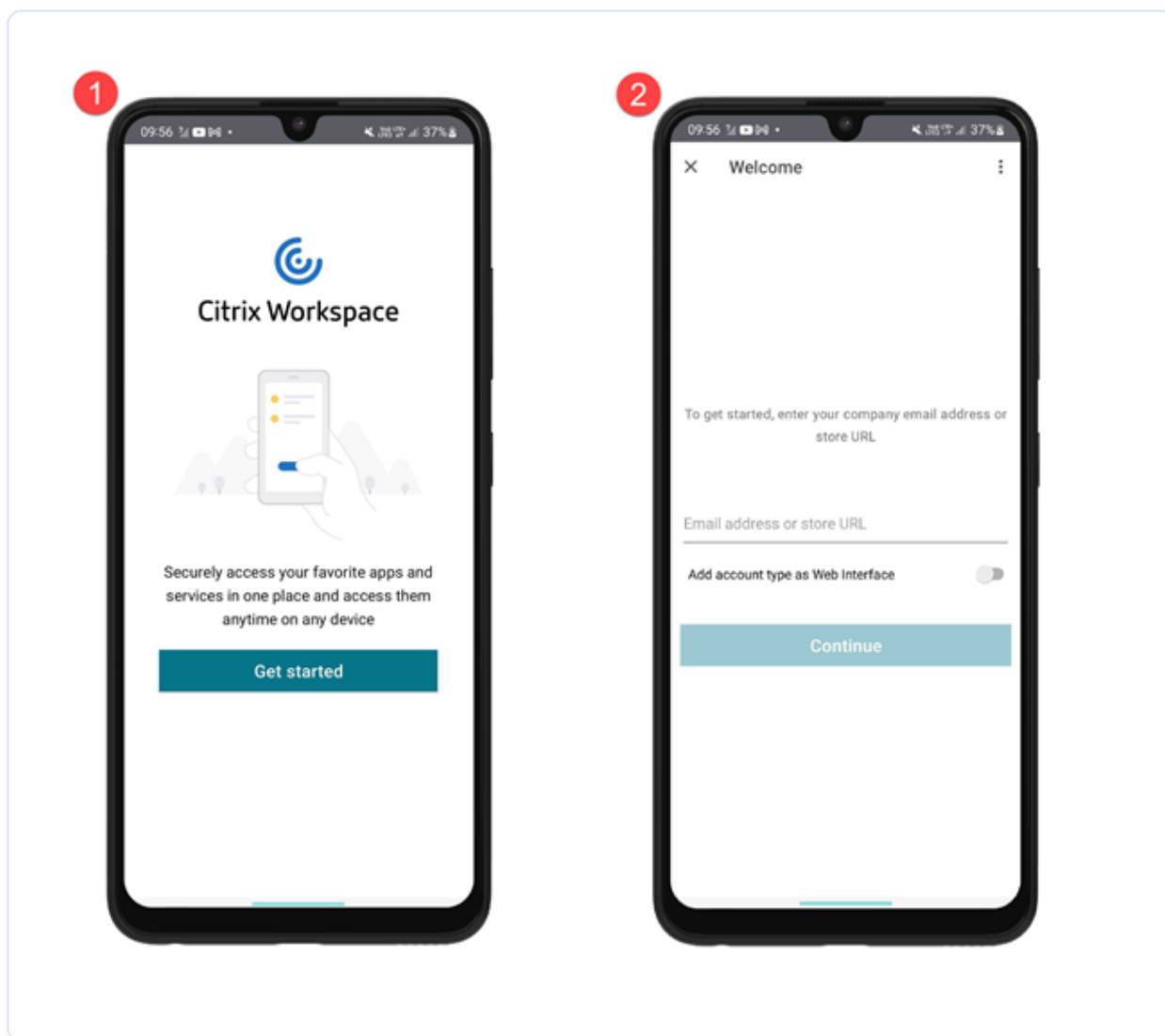
このセクションでは、Android オペレーティングシステムで動作するモバイルデバイスの Citrix Workspace アプリにアカウントを追加する方法について説明します。

citrix-workspace-app を初めて起動すると、ようこそ画面で組織のアプリケーションにアクセスするよう求められます。組織から提供されたアカウント情報を入力します。

職場のメールアドレスを使用してリソースにアクセスできます。組織によっては、`servername.company.com` のような組織のサーバーアドレスが必要です。また、組織の管理者からユーザー名、パスワード、ドメインなどの認証情報が必要になる場合もあります。

新しいユーザーアカウントを追加する

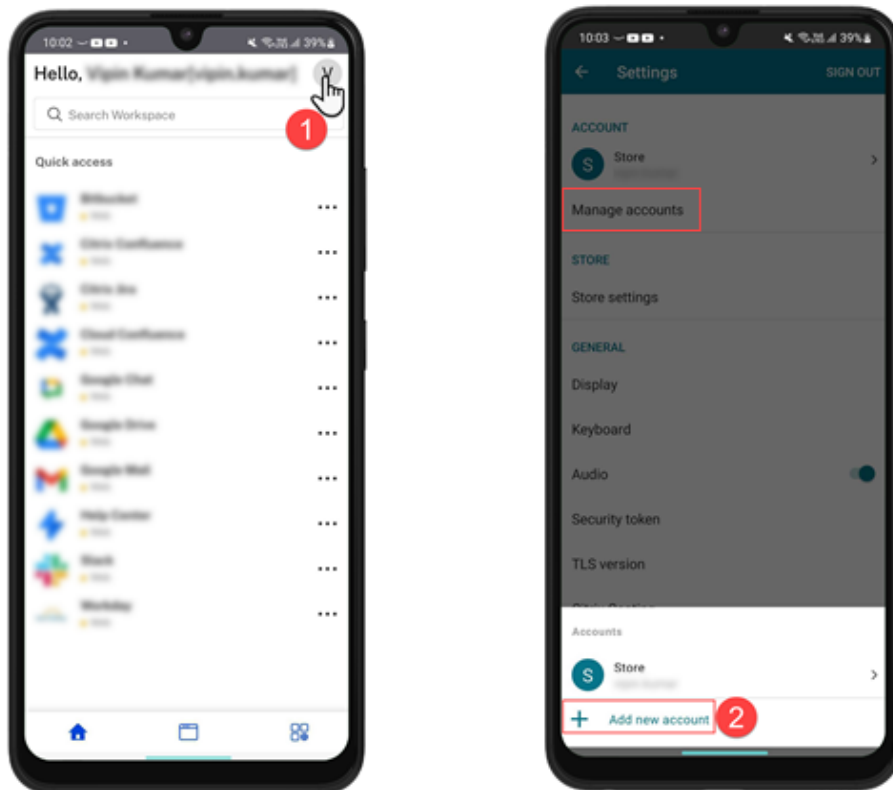
1. Citrix Workspace アプリを開き、 をクリックします。
2. 画面で、ストアの URL またはメールアドレスを入力し、 をクリックします。



3. プロンプトが表示されたら、資格情報を入力します。

複数のアカウントを追加する

1. ホーム画面の右上にあるプロフィールアイコンをタップします。
2. をタップし、 をタップします。



シトリックス ワークスペース アプリを知る

このセクションでは、citrix-workspace-app に慣れるのに役立ちます。このページには、以下のセクションが含まれています。

- はじめに
- ホーム
- アプリ
- デスクトップ
- ワークスペースの検索
- アクティビティマネージャー

はじめに

citrix-workspace-app の新しいユーザーインターフェイス (UI) は、視覚的な複雑さを軽減し、重要な機能への簡単なアクセスを提供し、必要に応じて Workspace アプリの使用と機能を洗練させ、より良いユーザーエクスペリエンスをもたらします。このアプリ体験は、クラウドストアをご利用のお客様のみが利用できます。

citrix-workspace-app への認証が成功すると、初めて **ホーム画面をパーソナライズ** が表示されます。この画面を使用して、アプリやデスクトップをお気に入りに追加してすばやくアクセスできます。アプリやデスクトップをお気に入りに追加するには、必要なアプリやデスクトップを選択し、**ホーム画面をパーソナライズ** で **お気に入りに追加** をタップするか、**スキップ** をタップして後で追加します。この画面は、20 を超えるアプリまたはデスクトップが割り当てられている場合にのみ表示されます。

Personalize your home screen

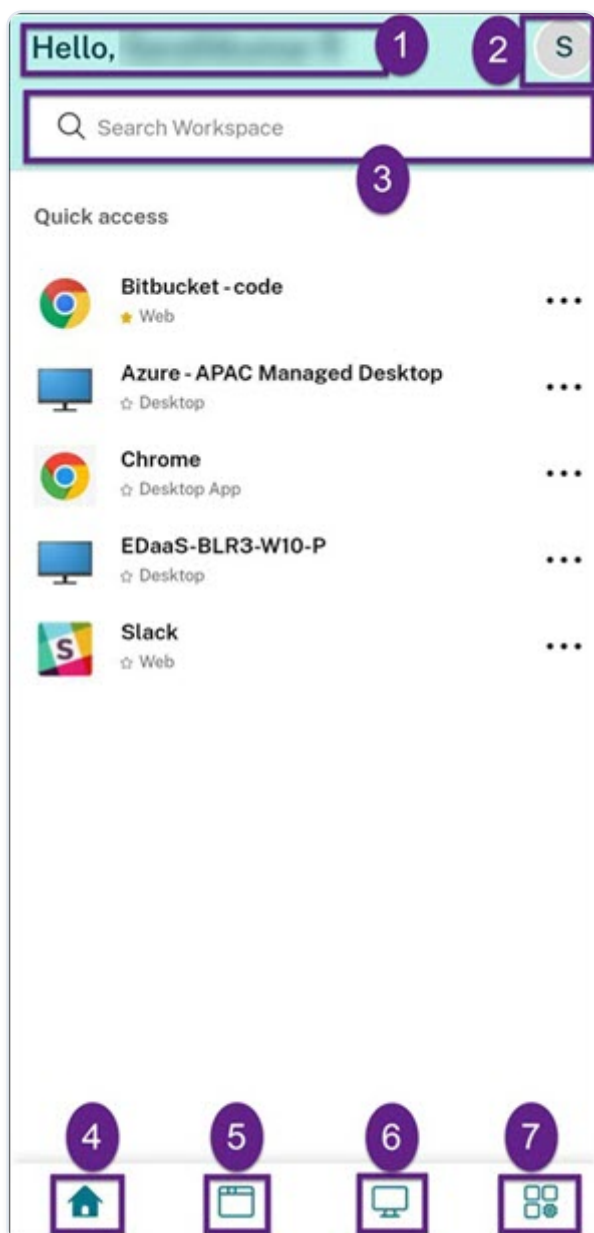
Add your favorites to your Citrix Workspace home screen.

 Search Workspace

- ☐  **Access 2016**
Desktop App
- ☐  **Anaqua**
Web
- ☐  **APAC Managed Desk...**
Desktop
- ☐  **Ariba**
Web
- ☐  **Ariba Guided Buying**
Web
- ☐  **Artifactory - repo**
Desktop App
- ☐  **Bitbucket - code**
Desktop App
- ☐  **Case Tracker**
Desktop App

Add to Favorites

Skip



Citrix Workspace UI には、次の要素が含まれています。

フィールド	説明
1 - 挨拶メッセージ	画面上部にあなたの名前とともに Hello メッセージが表示されます。あなたの名前は、管理者の記録にあるとおりに表示されます。
2 - アカウントアイコン	このアイコンをタップすると、 アカウントの管理 、 ストア設定 、 一般設定と詳細設定 、 Citrixへのフィードバック送信 、 ヘルプ 、 エクスペリエンスの評価 、 バージョン情報 、および サインアウトのオプション が表示されます。

フィールド	説明
3 - Workspaceの検索	テキストボックスに検索条件を入力します。検索条件を入力すると、結果が表示されます。また、あいまい検索で、類似したテキストやスペルミスの検索語句を含むアプリやデスクトップの結果を見つけることもできます。
4 - ホーム	すべてのお気に入り、および最近使用した5つのアプリとデスクトップが表示されます。アプリとデスクトップは、お気に入りが最初に、次に最近使用したものがアルファベット順に並べられます。
5 - アプリ	管理者によって提供されるすべてのアプリが表示されます。アプリは、お気に入りが最初に、アルファベット順に並べられます。アプリは、すばやく簡単に見つけられるように分類されています。
6 - デスクトップ	管理者によって提供されるすべてのデスクトップが表示されます。デスクトップは、お気に入りが最初に、アルファベット順に並べられます。
7 - アクティビティマネージャーアイコン	このアイコンをタップして、実行中のセッションを管理します。アプリの場合、アクティビティマネージャーから ログアウト または 切断 するオプションがあります。デスクトップの場合、 切断 、 ログアウト 、 シャットダウン 、 再起動 、および 強制終了 などの電源管理オプションがあります。 アクティビティマネージャー は、管理者が設定した設定によっては表示されない場合があります。

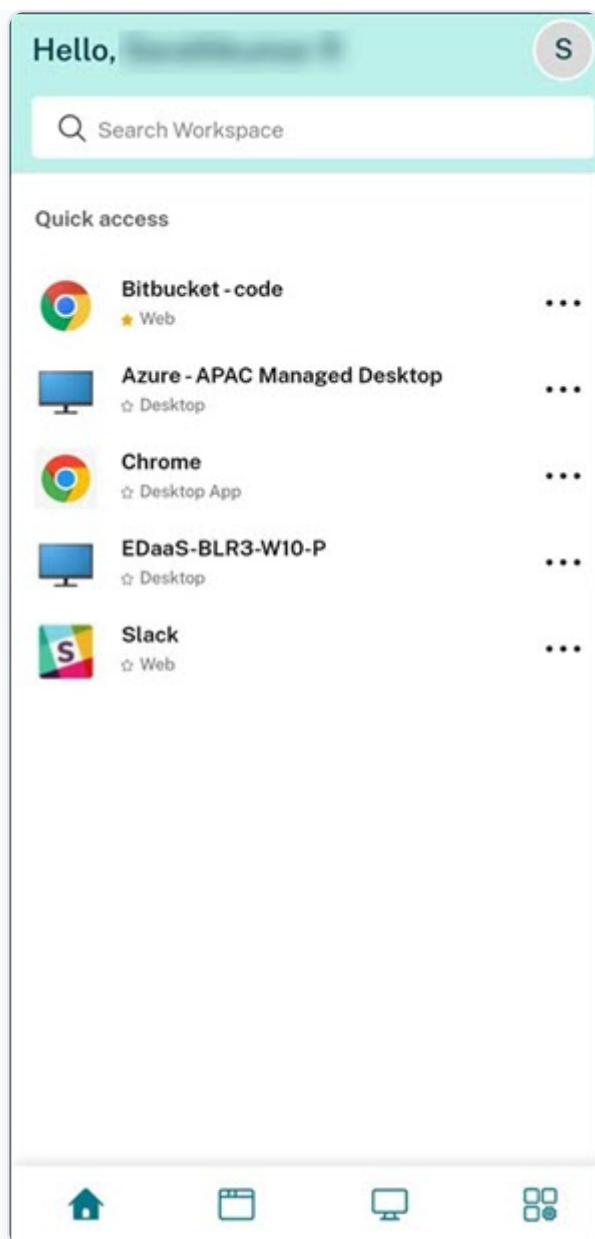
各アプリおよびデスクトップタイルには、お気に入りとしてマークするための星アイコンがあります。また、各アプリおよびデスクトップタイルには、開く、お気に入りの追加または削除、詳細の表示を行うための3点メニュー (...) があります。さらに、デスクトップには再起動オプションがあります。

ホーム

ホームタブには、お気に入りのアプリとデスクトップ、および最近使用した5つのアプリとデスクトップがすべて表示され、すばやくアクセスできます。ホームタブをタップすると、ホームにアクセスできます。

注

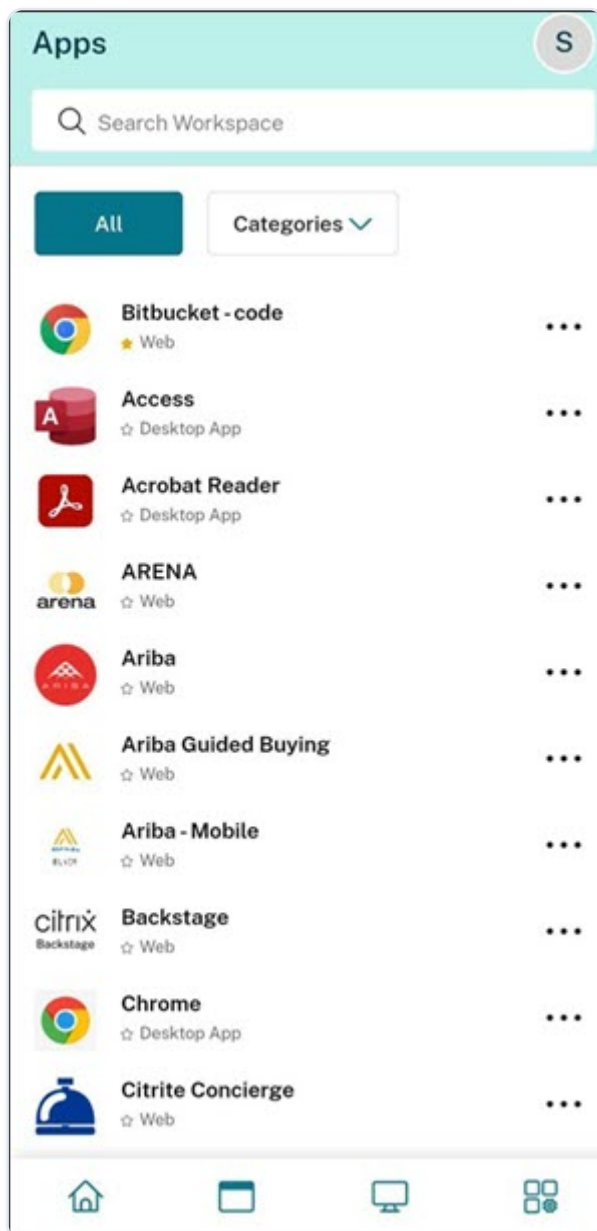
管理者によって設定された設定によっては、ホームタブが表示されない場合があります。



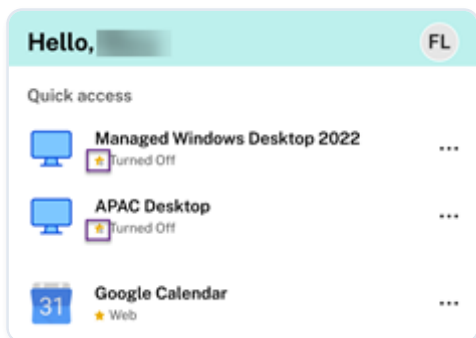
アプリ

アプリタブには、ユーザーに割り当てられているすべてのアプリのリストが表示されます。アプリタブをタップすると、アプリにアクセスできます。デフォルトでは、すべてのアプリがお気に入りが最初に表示され、アルファベット順に並べられています。

アプリは、管理者によってカスタマイズされたさまざまなカテゴリとサブカテゴリにグループ化されています。カテゴリドロップダウンメニューをタップし、必要なカテゴリを選択して、そのカテゴリに属するアプリを表示します。カテゴリに分類されていないアプリは、**その他**にグループ化されます。

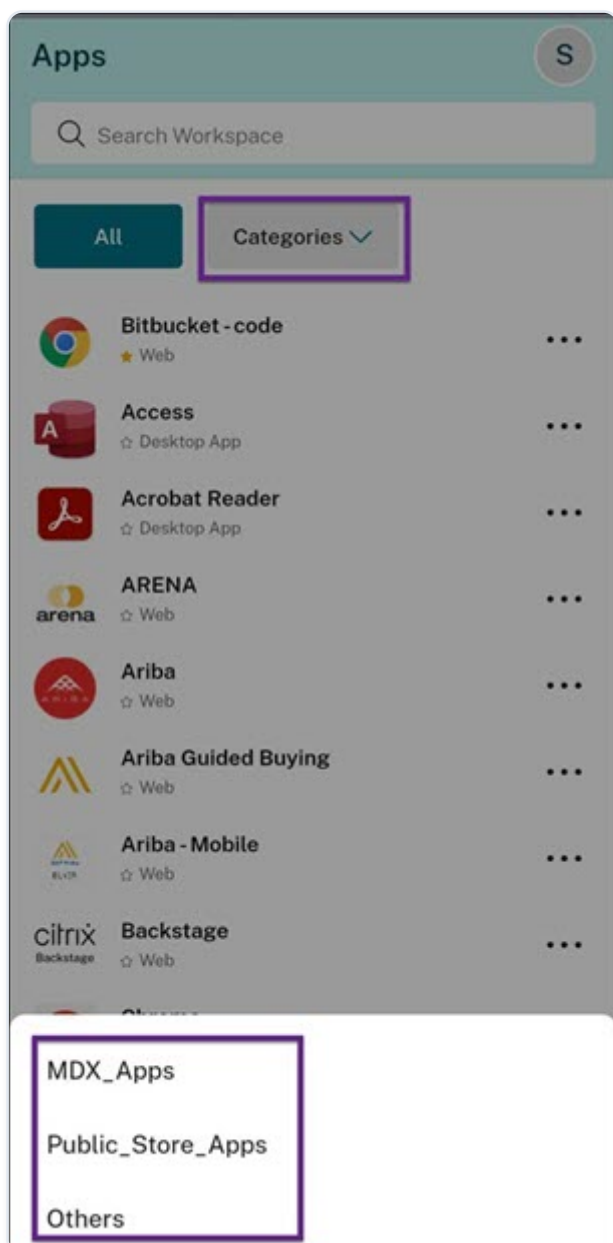


ロックアイコンが付いているアプリは必須アプリであり、それらのアプリをお気に入りから削除することはできません。



アプリは、管理者によってカスタマイズされたさまざまなカテゴリとサブカテゴリにグループ化されています。カテゴリドロップダウンメニューをタップし、必要なカテゴリを選択して、そのカテゴリに属するアプリを表示します。カテゴリに分類されていないアプリは、**その他**にグループ化されます。

上記の画像に表示されているカテゴリは、表現上の目的で使用されています。

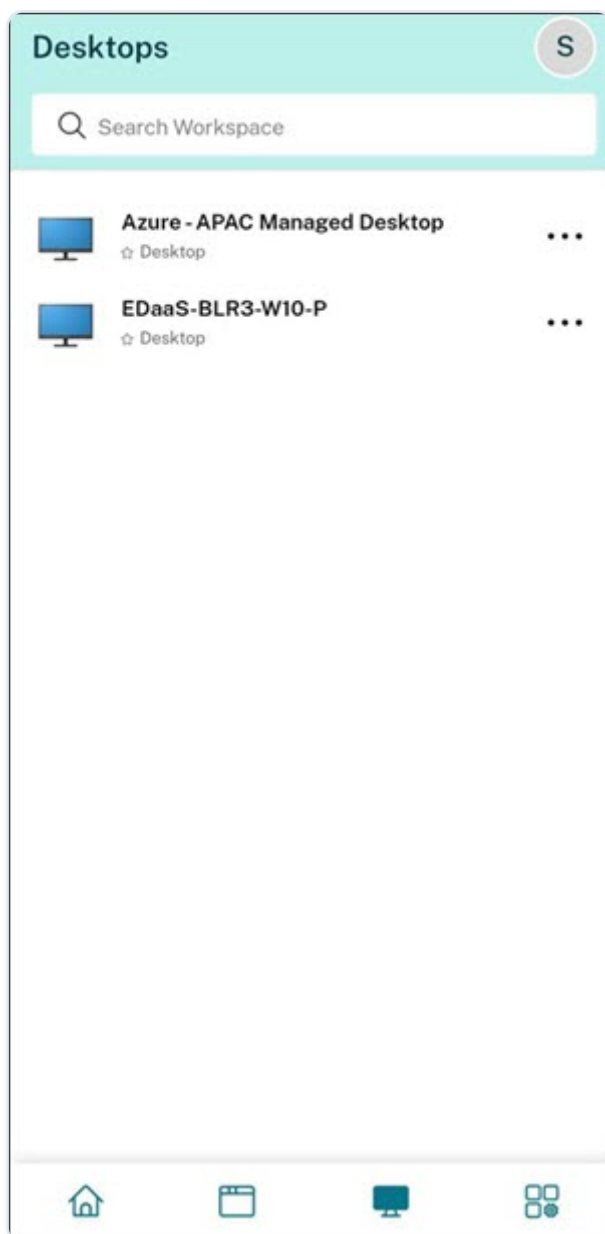


注

アプリが割り当てられていない場合、**アプリタブ**は表示されません。管理者がカテゴリを設定していない場合、**カテゴリ**は**アプリタブ**に表示されません。

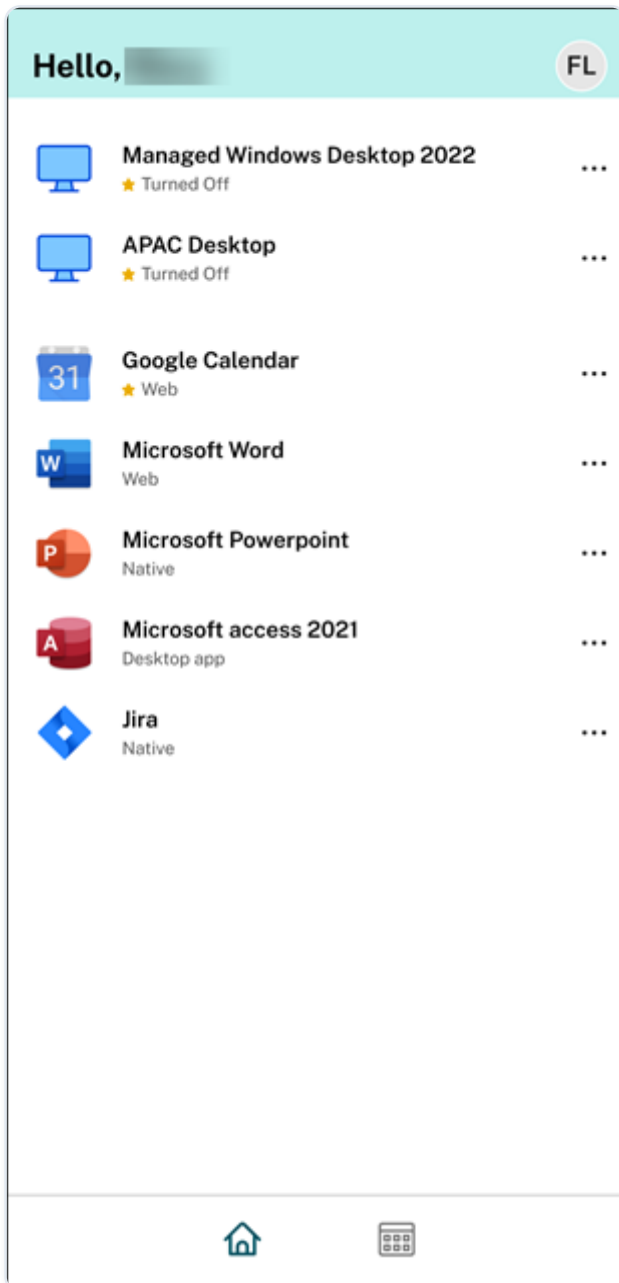
デスクトップ

デスクトップタブには、ユーザーに割り当てられているすべてのデスクトップのリストが表示されます。デスクトップタブをタップしてデスクトップにアクセスできます。デフォルトでは、すべてのデスクトップはアルファベット順に並べられ、お気に入りが最初に表示されます。



シンプルビューUIエクスペリエンス

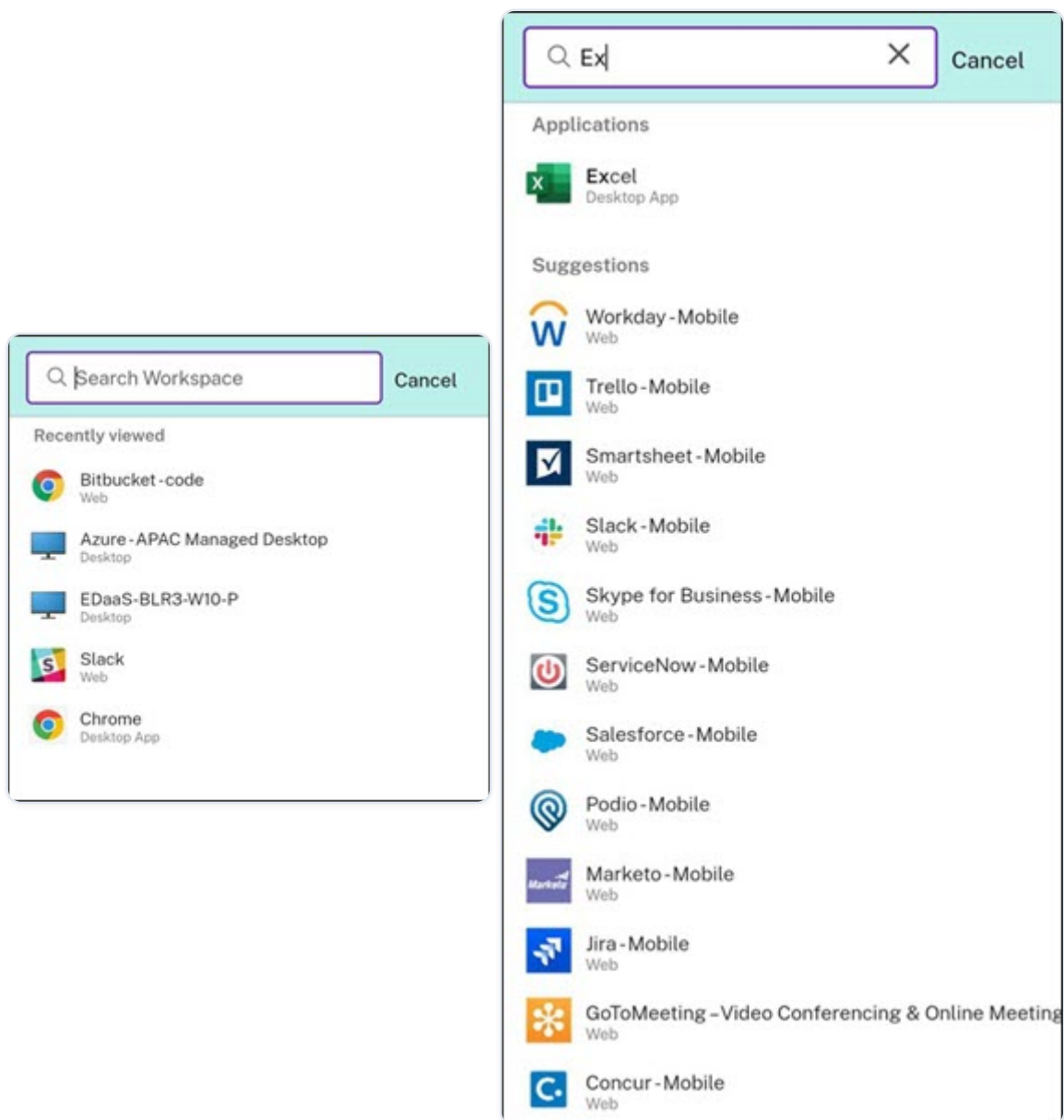
リソースが20未満の場合、デフォルトでは、タブやカテゴリのないシンプルビューUIの画面が表示されます。すべてのアプリとデスクトップが同じページに表示されます。この画面では、お気に入りが最初に表示され、次に他のすべてのアプリがアルファベット順に表示されます。すべてのアプリには、お気に入りに追加したり解除したりできる星のアイコンがあります。このWorkspaceアプリのシンプルビューは、所有しているアプリの数と管理者によって設定された設定によって異なります。



ワークスペースの検索

ワークスペースの検索バーは、アプリやデスクトップにすばやくアクセスするためのより速い結果を表示します。これにより、Workspaceアプリ内で迅速かつ直感的な検索を行うことができます。ワークスペースの検索バーをタップすると、デフォルトで最近使用した5つのアプリまたはデスクトップが表示され、アプリやデスクトップの名前を入力すると、さらに多くの結果が表示されます。カテゴリの名前を検索して、すばやく見つけることもできます。検索結果では、お気に入り が常に一番上に表示されます。

検索はスペルチェックが有効になっており、近似するテキストやスペルミスの検索語句によるあいまい検索の結果を表示し、実際の検索結果や提案とともにオートコンプリートの結果を表示します。アプリタブで管理者が作成したカテゴリの結果を表示できます。



アクティビティマネージャー

アクティビティマネージャーは、リソースを効果的に管理するのに役立ちます。不要になったセッションを終了または切断することで、セッションとシームレスにやり取りし、リソースを解放し、パフォーマンスを最適化できます。

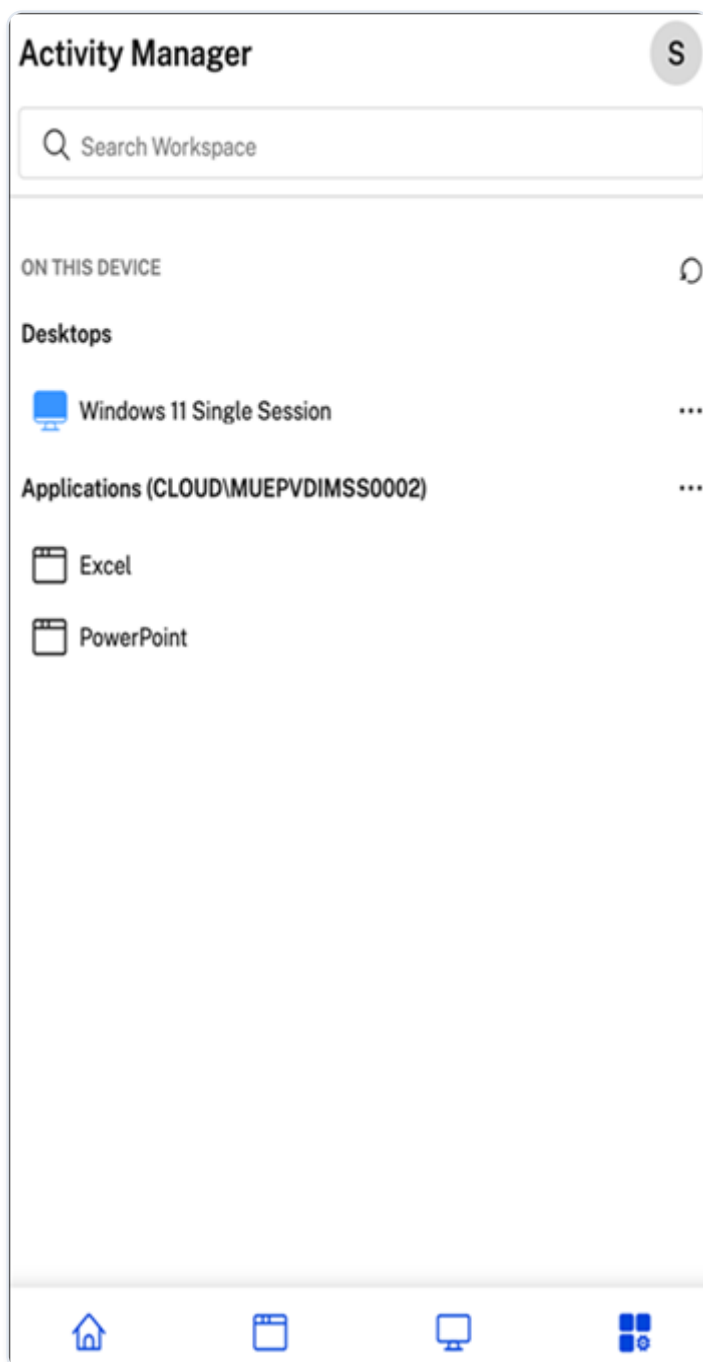
アクティビティマネージャーパネルには、現在のデバイスだけでなく、アクティブなセッションを持つリモートデバイスでもアクティブなアプリとデスクトップの統合リストが表示されます。このリストは、デスクトップではプロファイルアイコンの横に、モバイルデバイスでは画面の下部にあるアクティビティマネージャーアイコンをタップすることで表示できます。

Activity Manager を構成するには、管理者に問い合わせてください。

Activity Manager の使用

Activity Manager では、アクティブなアプリとデスクトップは次のようにグループ化されます。

- 現在のデバイスでアクティブなアプリとデスクトップのリストは、**このデバイス上**にグループ化されます。
- 他のデバイスでアクティブなアプリとデスクトップのリストは、**リモートで実行中**にグループ化されます。

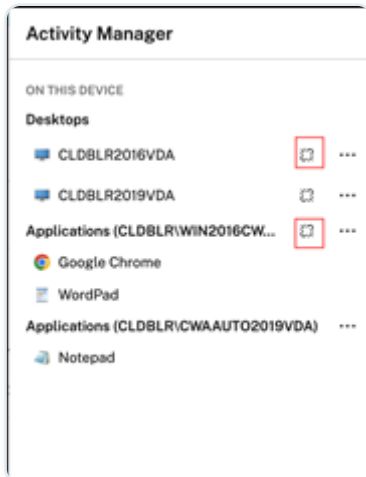


アプリまたはデスクトップに対して、それぞれの省略記号 (...) ボタンをタップして、次のアクションを実行できます。

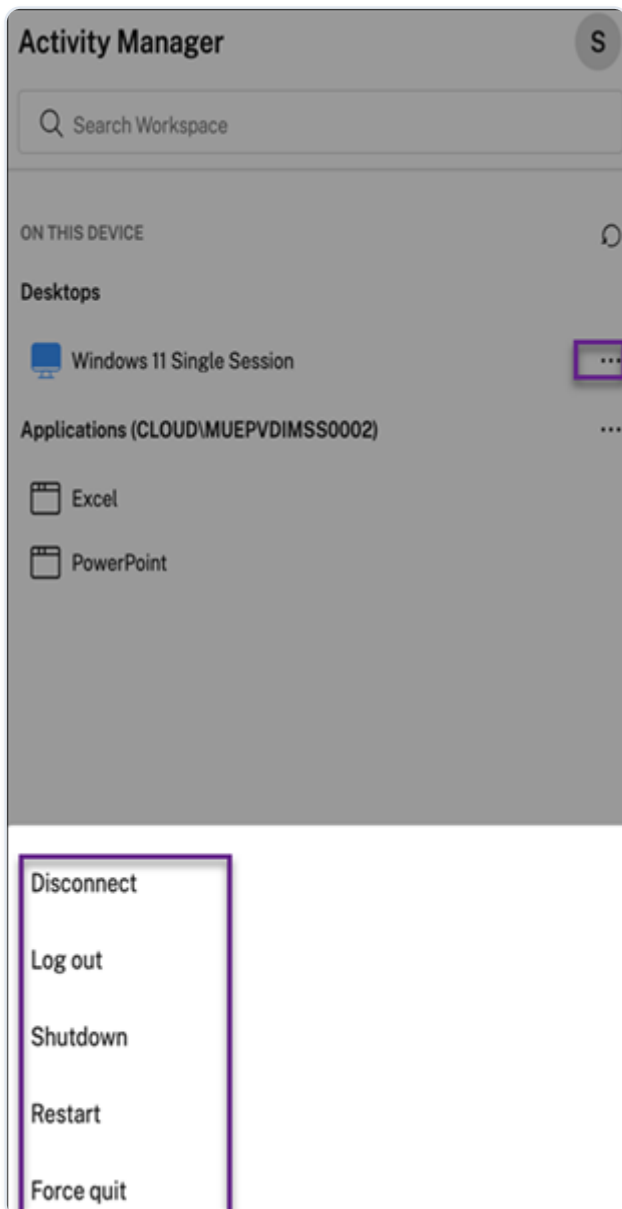
- **切断:** リモートセッションは切断されますが、アプリとデスクトップはバックグラウンドでアクティブなままです。
- **ログアウト:** 現在のセッションからログアウトします。セッション内のすべてのアプリが閉じられ、保存されていないファイルはすべて失われます。
- **シャットダウン:** 切断されたデスクトップを閉じます。
- **強制終了:** 技術的な問題が発生した場合に、デスクトップを強制的にシャットダウンします。
- **再起動:** デスクトップをシャットダウンして、再度起動します。

切断されたアプリとデスクトップ

Activity Manager を使用すると、ローカルまたはリモートで切断モードで実行されているアプリやデスクトップを表示し、操作を実行できます。セッションはモバイルデバイスまたはデスクトップデバイスから管理できるため、外出先でも操作を実行できます。ログアウトやシャットダウンなど、切断されたセッションに対して操作を実行することで、リソースの最適化された使用が促進され、エネルギー消費が削減されます。



- 切断されたアプリとデスクトップは、アクティビティマネージャーパネルに表示され、切断アイコンで示されます。
- 切断されたアプリはそれぞれのセッションの下にグループ化され、セッションは切断アイコンで示されます。



省略記号ボタンをタップすることで、切断されたデスクトップに対して次のアクションを実行できます。

- **ログアウト**: 切断されたデスクトップからログアウトするために使用します。セッション内のすべてのアプリが閉じられ、保存されていないファイルはすべて失われます。
- **シャットダウン**: このオプションを使用して、切断されたデスクトップを閉じます。
- **電源オフ**: 技術的な問題が発生した場合に、このオプションを使用して切断されたデスクトップを強制的に電源オフにします。
- **再起動**: このオプションを使用して、切断されたデスクトップをシャットダウンして再度起動します。

アクティビティマネージャーでの切断されたセッションの動作は次のとおり異なります。

- ブラウザ経由でCitrix Workspaceにサインインし、ローカルセッションを切断すると、セッションは最初に「このデバイス上」に表示されます。ただし、アクティビティマネージャーを閉じて再度開くと、切断されたセッションは「リモートで実行中」に移動します。
- ネイティブデバイス経由でCitrix Workspaceアプリにサインインし、ローカルセッションを切断すると、切断されたセッションはリストから消えます。ただし、アクティビティマネージャーを閉じて再度開くと、切断されたセッションは「リモートで実行中」に移動します。

カスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP)

Citrix WorkspaceアプリのCitrixカスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) とは?

Citrixカスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) は、Citrix Workspaceアプリから構成データと使用状況データを収集し、Citrix AnalyticsおよびGoogle Firebaseに自動的に送信します。このデータにより、CitrixはCitrix Workspaceアプリのパフォーマンスを分析し、品質、機能、パフォーマンスを向上させ、製品開発のためのリソース配分を最適化し、効果的な人員配置とインフラ投資を通じてサービスレベルをサポートすることができます。

すべてのデータは集計形式でのみ使用および分析され、個々のユーザーやデバイスが特定されたり、個別に分析されたりすることはありません。CitrixはCEIPを通じて個人を特定できる情報 (PII) を収集することではなく、すべてのデータ収集は関連する業界のデータプライバシーおよびセキュリティ標準に準拠しています。

CEIPデータの収集に使用されるツール

Android版Citrix Workspaceアプリは、CEIPデータを収集するためにCitrix AnalyticsとGoogle Firebaseを使用します。

収集されるデータ

Citrix AnalyticsおよびGoogle Firebaseによって収集される特定のCEIPデータ要素は次のとおりです。

オペレーティングシステムのバージョン*	Workspaceアプリのバージョン*	認証構成	デバイス情報
セッション起動方法	Citrixストアの種類	クライアントドライブマッピング構成	

セッション情報	Recieverconfig.txt の使用状況	USBリダイレクト構成	HDX RTMEユーザー情報
HTTPおよびHTTPS接続構成	ICA接続プロトコル情報	Workspaceアプリのレビューアクション	Firebase構成の無効化
追加されたストアの数	画面キャプチャアクション	RSA機能のユーザーアクション	StoreFrontとWorkspaceアプリのユーザー数
アプリ更新アクション	オペレーティングシステムの更新	画面表示アクション	アプリ削除
Webビュー接続	アプリデータ消去	アプリ実行	アプリセッション開始

CEIPデータはどのユーザーから収集されるか？

Citrix Workspaceアプリは、ユーザーからカスタマーエクスペリエンス向上プログラム (CEIP) データを収集します。Citrix Analyticsを通じて収集されるCEIPデータは、すべての地域のユーザーを含むように構成されています。ただし、Google Firebaseを通じて収集されるCEIPデータは、欧州連合 (EU)、欧州経済領域 (EEA)、スイス、および英国 (UK) に所在するユーザーを除外します。

この機能が有効であることを確認するには、最新バージョンに更新してください。

ユーザーと管理者はCEIPデータ収集を無効にできますか？

Citrix AnalyticsおよびGoogle FirebaseへのCEIPデータの送信を無効にできます（以下の表で*で示されている2つのデータ要素を除く）。方法は次のとおりです。

1. citrix-workspace-appを開き、**設定**に移動します。
2. **高度な設定**を選択します。

高度な設定ダイアログが表示されます。

3. **使用状況統計を送信オプション**をオフにします。

アプリにアクセスする

citrix-workspace-app のホーム画面を管理する:

アプリを追加する

デバイスで、アプリの横にある白い星のアイコンをタップして、アプリをホーム画面に追加します。アプリ名をタップして起動します。

アプリがすぐに起動しない場合は、インストールをクリックしてアプリをデバイスにダウンロードします。

アプリを削除する

ホーム画面で、アプリの横にある黄色の星のアイコンをタップしてアプリを削除します。完了したら画面をタップします。

Citrix Ready ワークスペースハブ

Citrix Ready Workspace HubはCitrix Castingを有効にし、モバイルセッションをハブに安全に転送できるようにします。

前提条件：

- アンドロイド版 citrix-workspace-app 1809 以降。
- ハブ検出のためにデバイスでBluetoothが有効になっていること。
- モバイルデバイスとWorkspace Hubが同じWi-Fiネットワークを使用していること。

Citrix Castingを有効にする

Citrix Castingを有効にするには、**【設定】 > 【Citrix Casting】** に移動します。**【Citrix Casting を使用】** チェックボックスをオンにします。

次に、モバイルセッションをハブに転送したときに自動的に起動するデフォルトのアプリまたはデスクトップを設定します。任意のアプリまたはデスクトップを選択するには、**【設定】** から **【構成】 > 【優先リソース】** をクリックします。

これで、セッションをローミングまたはキャストできます。

セッションローミング

セッションローミングを使用すると、モバイルデバイスからVDAセッションを起動し、Citrix Ready Workspace Hubに転送できます。

- 手動ローミング
- 近接認証

手動セッションローミング

Citrix Ready workspace hub の QR コードをスキャンして、VDA セッションを workspace hub に転送します。セッションがローミングすると、workspace hub はセッション内で利用可能なすべての周辺機器を完全に制御します。

セッションローミングを手動で開始する方法:

1. citrix-workspace-app を起動します。
 2. **設定 > Citrix Casting > Citrix Casting を使用** をタップします。
 3. workspace hub アイコンをタップして、コードスキャナーを使用して QR コードをスキャンします。
 4. 次のいずれかの方法で、セッションを手動でローミングできます。
 - workspace hub の QR コードをスキャンする。
- または
- **ハブリストを表示** をタップする。以下に示すように、名前の横に表示されている workspace hub アイコンをタップして、リストから workspace hub を選択できます。workspace hub は Bluetooth 信号強度の順に表示されます。
5. workspace hub 設定アイコンをクリックして、次の操作を行います。
 - 検出範囲を設定します。
 - 切断範囲を設定します。

workspace hub に接続すると、セッションのローミングが開始されます。

右側の X アイコンをタップして、ローミングセッションを切断します。画面を2本の指で下にスワイプして切断することもできます。

近接認証によるセッションローミング

近接認証は、モバイルデバイスに触れることなく、セッションを自動的に認証して起動する方法を提供します。citrix-workspace-appを起動すると、デバイスがworkspace hubの近接認証範囲に入ったときに、セッションはCitrix Ready workspace hubにローミングします。

モバイルデバイスがCitrix Ready workspace hubの範囲内にある場合、citrix-workspace-appで設定されたデフォルトの仮想デスクトップまたはアプリが、Citrix Ready workspace hub上で自動的に起動します。モバイルデバイスが範囲外に移動すると、起動されたデスクトップまたはアプリは閉じます。

近接認証を使用するには、モバイルデバイスとworkspace hubの両方でBluetoothが有効になっていることを確認してください。Androidバージョン6.0以降を実行しているモバイルデバイスで**位置情報**設定を有効にしてください。

近接認証を構成するには：

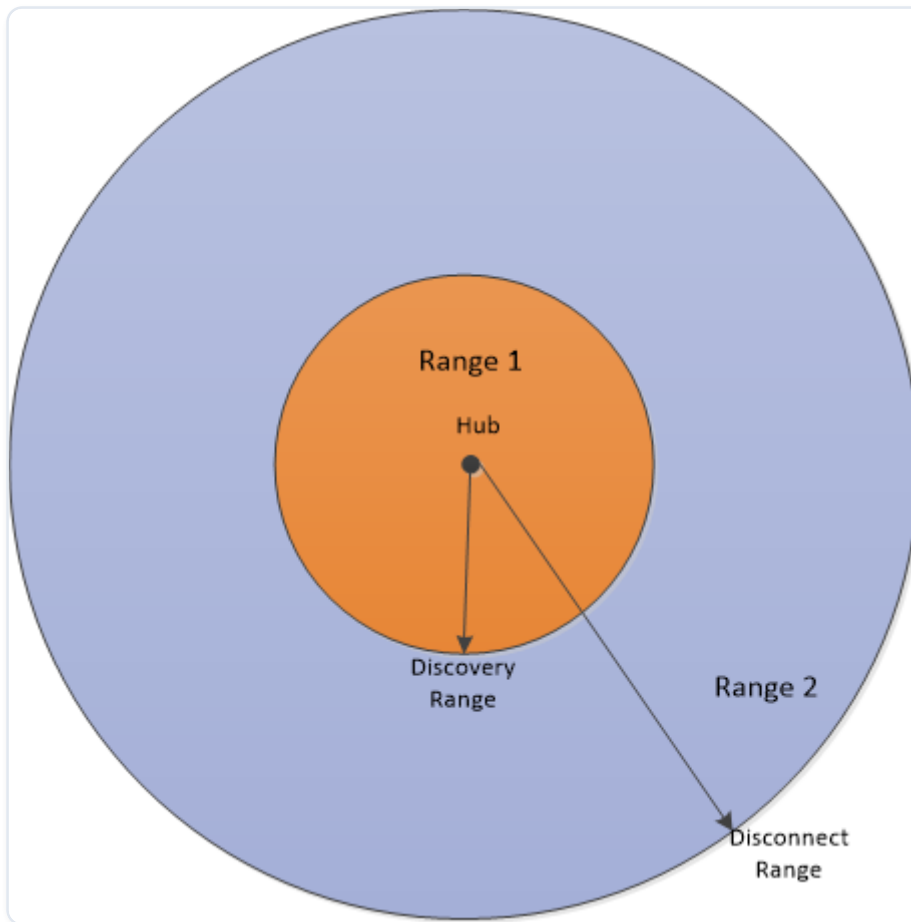
1. citrix-workspace-appで、**設定 > Citrix Casting > Citrix Castingを使用**をタップします。

2. **構成**をタップします。構成ダイアログが表示されます。

3. 構成ダイアログで：

- **近接認証**オプションをタップして有効にします。近接認証オプションを**OFF**に設定すると、VDAセッションはお気に入りのworkspace hubにのみローミングします。近接認証オプションを**ON**に設定すると、VDAセッションのローミングは利用可能なすべてのworkspace hubで機能します。
- **検出範囲** - モバイルデバイスとworkspace hub間の距離に対するBluetooth信号強度を示します。検出範囲は、近接認証が自動的に機能する範囲です。デフォルト値は-40です。
- **切断範囲** - モバイルデバイスとworkspace hub間の距離に対するBluetooth信号強度を示します。切断範囲は、近接認証が停止する範囲の始まりです。デフォルト値は-70です。切断範囲は検出範囲以下である必要があり、値は負である必要があります。workspace hubリストに表示されるRSSI値に応じて値を調整できます。図Workspace hub dialogを参照してください。
- **優先リソース**は、モバイルデバイスが近接認証範囲に入ったときに起動するデフォルトのVDAセッションです。この設定は、citrix-workspace-appにログオンするために使用するアカウントに固有です。優先リソースを設定するには、citrix-workspace-appにログオンして設定します。複数のアカウントがある場合は、各アカウントに優先リソースを設定する必要があります。この設定は永続的であり、アカウントごとに優先リソースを一度だけ設定すればよいことを意味します。設定を変更するまで、近接認証範囲に入るたびに優先リソースが起動します。

モバイルデバイスを範囲1に移動すると、近接認証がトリガーされ、お気に入りのVDAセッションがworkspace hubで自動的に起動します。モバイルデバイスが範囲1または2内に留まっている限り、デフォルトのデスクトップまたはアプリはworkspace hubで実行され続けます。Androidデバイスを範囲1および2から移動すると、デスクトップまたはアプリは自動的に閉じます。



お気に入りのハブ

ハブリストからworkspace hubを長押しして、そのハブをお気に入りのハブとして設定します。お気に入りのハブの名前は、workspace hubリストの上部に青色で表示されます。

近接認証を有効にし、範囲内に複数のワークスペースハブがある場合、セッションをローミングするワークスペースハブを選択するためのダイアログが表示されます。

複数のCitrix Readyワークスペースハブが範囲内にあり、citrix-workspace-appがバックグラウンドで実行されている場合、モバイルデバイスに通知が表示されます。通知をクリックし、接続したいワークスペースハブを選択します。

セッションを終了するには：

- モバイルデバイスを範囲1および2から移動させます。
- citrix-workspace-appのホーム画面で2本の指で下にスワイプします。
- citrix-workspace-appを閉じます。
- Citrix ReadyワークスペースハブでWindowsセッションを終了します。
- ローミングセッションを切断するには、右側のXアイコンをタップします。

セッションキャスティング

セッションキャスティングを使用すると、モバイルデバイスからワークスペースハブに接続された大画面に任意のアプリまたはデスクトップをリダイレクトできます。セッションがキャストされると、ハブとデバイスの両方でキーボードとマウスを使用してセッションを制御できます。

セッションをハブにキャストするには：

1. セッション内で、ツールバーのキャストアイコンをタップします。メニューとカメラビューが表示されます。
2. 接続するには、ワークスペースハブのQRコードをスキャンします。

接続期間の延長

長時間実行されるセッション中、画面をロックしたままデバイスを置くことができます。セッションが中断なく実行されるようにするには、次のヒントを考慮してください。

- バッテリー最適化はセッションに干渉する可能性があります。バッテリー最適化の影響を避けるには、citrix-workspace-appをAndroidのバッテリー最適化の無視リストに追加します。
 - 設定に移動します。バッテリー最適化 > すべてのアプリ -> **Workspace**を検索します。
- サードパーティ製のバッテリー最適化アプリを使用している場合は、citrix-workspace-appをその最適化リストから削除してください。
- Citrixでは、画面をロックする前にcitrix-workspace-appのメインインターフェイスをフォアグラウンドに表示することをお勧めします。これにより、モバイルデバイスのオペレーティングシステムがcitrix-workspace-appセッションを終了させないようにします。

セキュアな接続

Citrix Ready Workspace Hubは、Androidデバイスとハブ間のセキュアな接続をサポートしています。Androidデバイスが安全に認証されるようにするには、クライアント証明書をインストールする必要があります。

1. モバイルデバイスに証明書をダウンロードしてインストールします。

注：

Androidデバイスが証明書形式を認識しない場合は、サフィックスを変更します（.pemから.crtへ）。

2. Androidデバイスで、**設定 > その他のセキュリティ設定 > デバイスストレージからインストール > 信頼できる資格情報**に移動します。

信頼できる資格情報(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/wsh-trusted-credentials.png)

Androidデバイスがホスト名を検証できない、または証明書を見つけられない場合、アラートメッセージが表示されます。次のいずれかのオプションを選択してください。

- **1回許可**：信頼されていない証明書を使用してハブに接続します。
- **常に許可**：接続し、ハブを信頼済みリストに追加します。アラートメッセージは再度表示されません。
- **キャンセル**：接続をキャンセルします。

通知を元の設定にリセットするには、アプリをアンインストールするか、キャッシュをクリアしてください。

ジェスチャの学習

citrix-workspace-appアプリケーションでは、タップ、スワイプ、ドラッグ、ピンチなど、おなじみのAndroidジェスチャをすべて使用できます。さらに、citrix-workspace-appには画面用のマルチタッチジェスチャが含まれています。



citrix-workspace-appの実行中に、ツールバーからアイコンをタップし、Androidアイコンをタップして、ジェスチャを選択します。

操作内容：	ANDROIDでの操作：
シングルクリック	1本指タップ
右クリック	タッチ、ホールド、リリース
オンスクリーンキーボードを開く	3本指タップ (またはツールバーからキーボードアイコンをタップ)
ズーム	ピンチイン/ピンチアウト (またはツールバーから拡大鏡アイコンをタップ)
ドラッグ	タッチ、ホールド、スライド
カーソルを有効にする	2本指タップ

ジェスチャーガイドを閉じるには、画面または戻る矢印をタップします。

長押しジェスチャーで最近使用したアプリにアクセスする

citrix-workspace-appアイコンを長押しジェスチャーで使用すると、最近起動したアプリとデスクトップのリストにすばやくアクセスできます。

長押し(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/long-press.png)

アカウントを設定する

リソースにアクセスするために、1つまたは複数のアカウントを設定できます。

アカウントを作成する

citrix-workspace-app を初めて起動すると、ようこそ画面に組織のアプリケーションへのアクセスが案内されます。組織から提供されたアカウント情報を入力してください。

1. citrix-workspace-app のホーム画面から、画面右下にあるプラスアイコンをクリックして、**アカウントの追加**ダイアログを起動します。
2. **アカウントの追加**ダイアログで、IT管理者が提供するストアURLを入力します。

アカウントの追加(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/add-account-cwa-android.png)

注:

- 職場のメールアドレスを使用してリソースにアクセスできます。一部の組織では、`servername.company.com` のような組織のサーバーアドレスが必要です。
- ユーザー名、パスワード、ドメインなどの認証資格情報が必要です。

アカウントを編集する

特定のユーザーアカウントのCitrix Gatewayアドレスと認証タイプを変更するには、**編集**を選択します。

アカウントの編集(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/edit-account-cwa-android.png)

リソースを起動する

デバイスで、**アプリ**または**デスクトップ**をタップして、アクセスできるリソースを表示します。

ホーム画面にリソースを追加する

リソースアイコンの星アイコンをクリックすると、アプリまたはデスクトップがホーム画面に追加されます。黄色の星は、そのリソースがすでにホーム画面に追加されていることを示します。ホーム画面からリソースを削除するには、黄色の星アイコンをクリックすると、ホーム画面から削除されます。

証明書をインストールする

組織がデバイスに証明書を要求する場合、組織はダウンロード用のWebアドレスを提供するか、電子メールの添付ファイルとして送信する必要があります。ファイルを手に入れたら、それをタップしてデバイスにインストールします。

複数のアカウントを作成する

お気に入りアプリケーションと設定が異なる複数のアカウントを作成できます。アカウントのリストから、アカウントの追加をタップします。

アカウントを削除する

アカウントページで、ユーザーアカウントの横にあるゴミ箱アイコンを選択します。

ユーザー権限

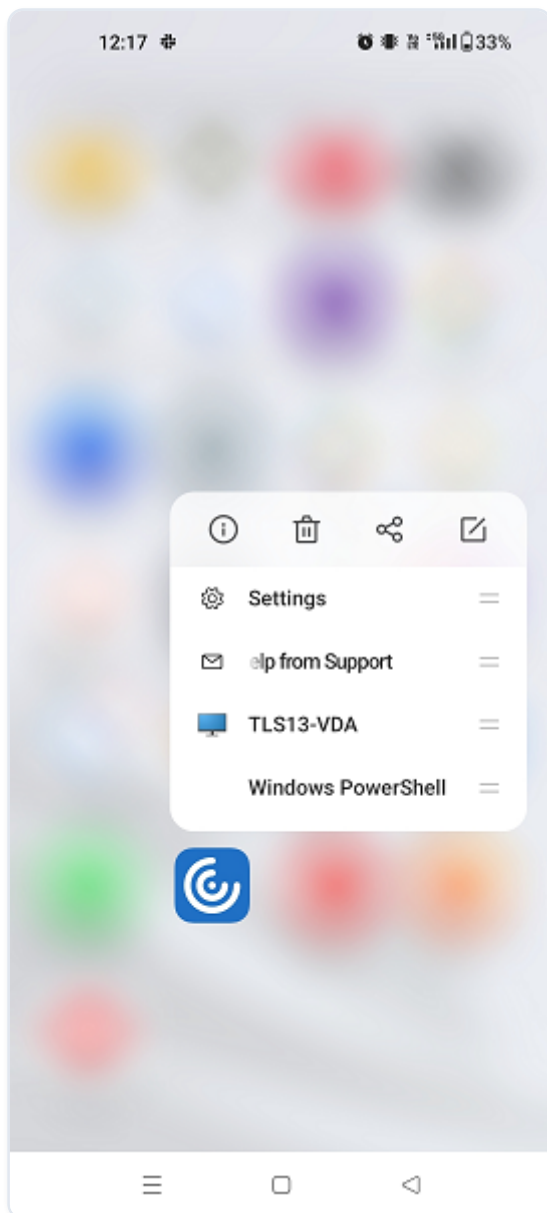
ストアごとのマイクアクセス

クライアント選択的信頼機能により、citrix-workspace-appはVDAセッションからのアクセスを信頼できます。ローカルクライアントドライブや、マイク、Webカメラなどのハードウェアデバイスへのアクセスを許可できます。

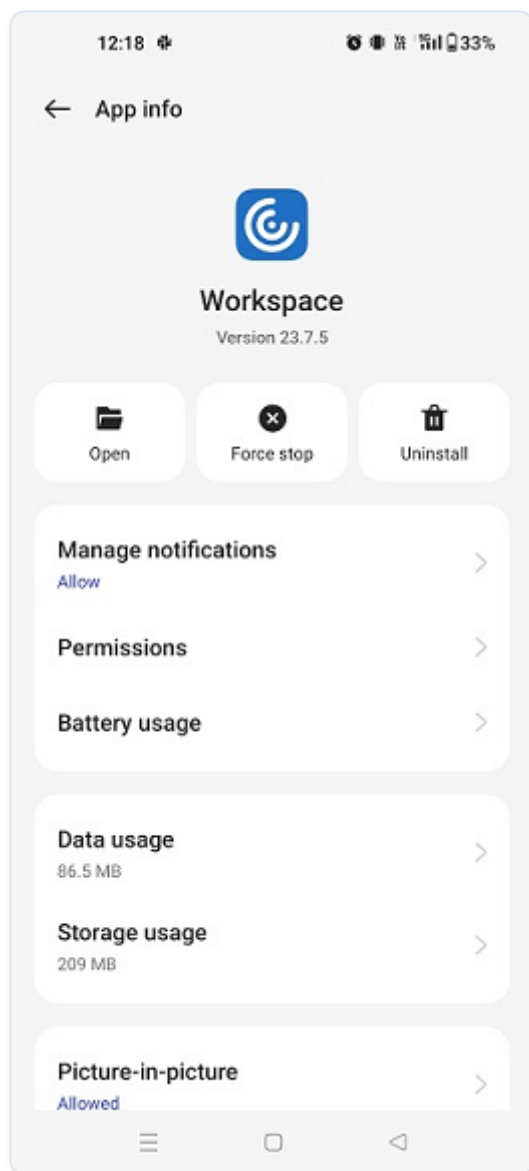
以前は、マイクアクセス設定はすべての構成済みストアに適用されていました。

現在、citrix-workspace-appはマイクにアクセスするためにユーザーの許可を必要とします。選択されたマイクアクセス設定は、ストアごとに適用されます。マイクにアクセスするためのユーザーの許可を次のように提供します。

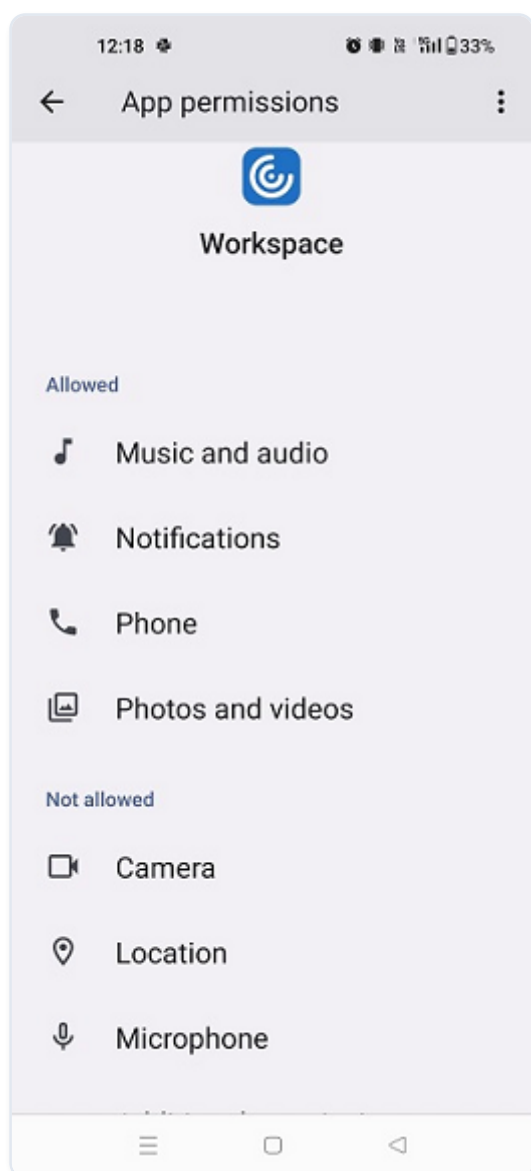
1. citrix-workspace-appアイコンを長押しし、**アプリ情報**  アイコンをタップします。



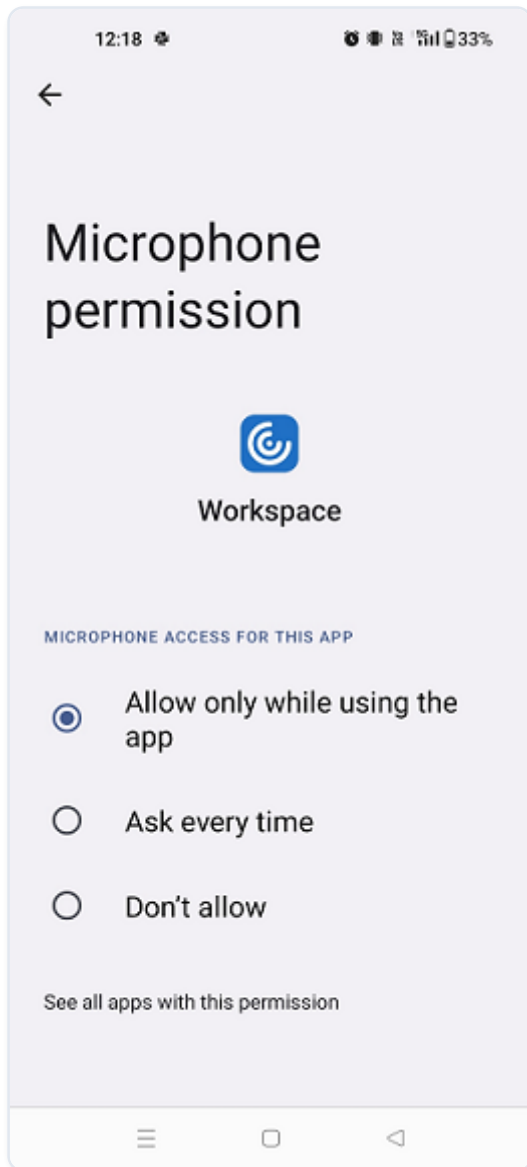
2. 権限をタップします。



3. マイクをタップします。



4. このアプリの使用中的み許可を選択します。



これで、citrix-workspace-appの使用中にマイクにアクセスできます。

アクセスレベルを次のように構成します。

1. citrix-workspace-appを開き、**設定 > ストア設定**を選択します。
2. **権限を設定**オプションの下で、ドロップダウンメニューからストアを選択します。

マイク(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/store-settings.png)

3. **マイク**を有効にします。

これでマイクが有効になり、Androidデバイスでcitrix-workspace-appを使用中にマイクを使用できます。

ストアごとの位置情報へのアクセス

クライアント選択的信頼機能により、citrix-workspace-appはVDAセッションからのアクセスを信頼できます。

以前は、位置情報へのアクセス設定は、構成されているすべてのストアに適用されていました。

バージョン21.3.0以降、citrix-workspace-appは位置情報にアクセスするためにユーザーの許可を必要とします。選択された位置情報へのアクセス設定は、ストアごとに適用されます。位置情報にアクセスするためのユーザーの許可を次のように付与します。

1. citrix-workspace-appアイコンを長押しし、**アプリ情報**  アイコンをタップします。

CWAアプリ情報(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/cwa-longpress.png)

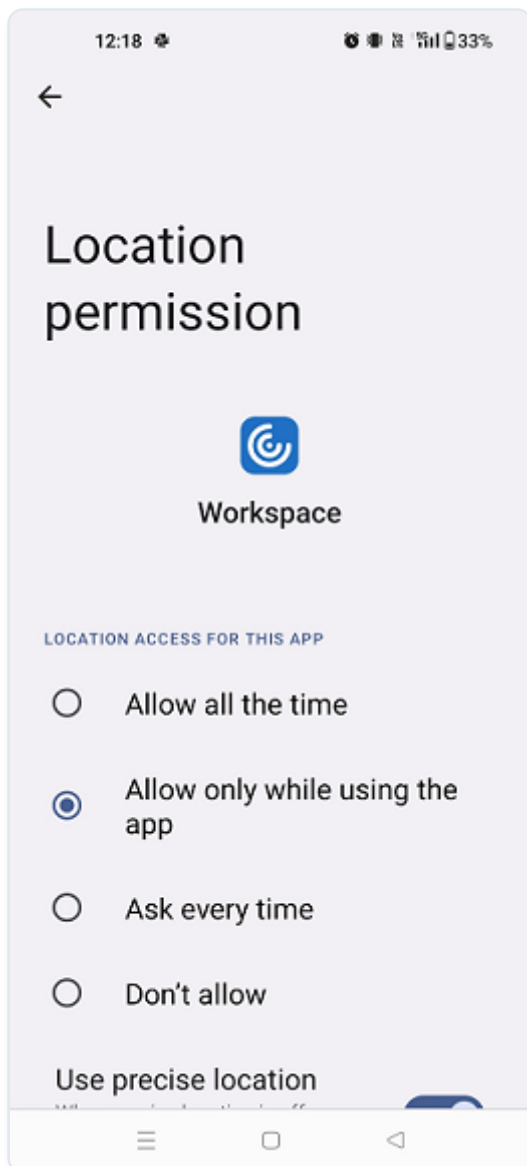
2. **権限**をタップします。

アプリ情報(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/appinfo.png)

3. **位置情報**をタップします。

アプリの権限(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/app-permissions.png)

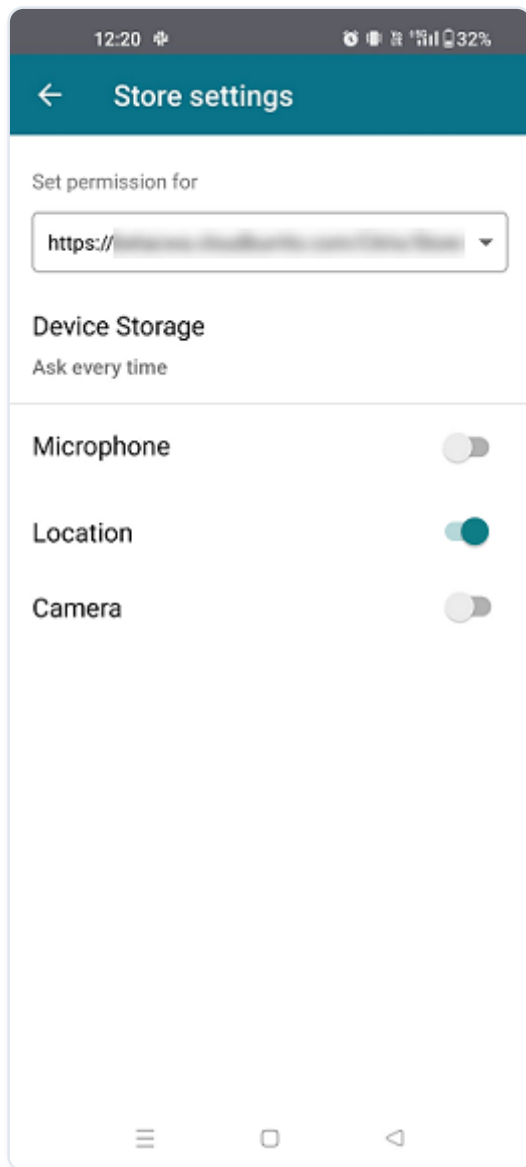
4. **このアプリの使用中的み許可**を選択します。



これで、citrix-workspace-appの使用中に位置情報にアクセスできるようになります。

アクセスレベルを次のように構成します。

1. citrix-workspace-appを開き、**【設定】** > **【ストア設定】** の順に選択します。
2. **【アクセス許可の設定】** オプションで、ドロップダウンメニューからストアを選択します。



3. 【位置情報】を有効にします。

これで位置情報が有効になり、Androidデバイスでcitrix-workspace-appを使用中に位置情報を使用できるようになります。

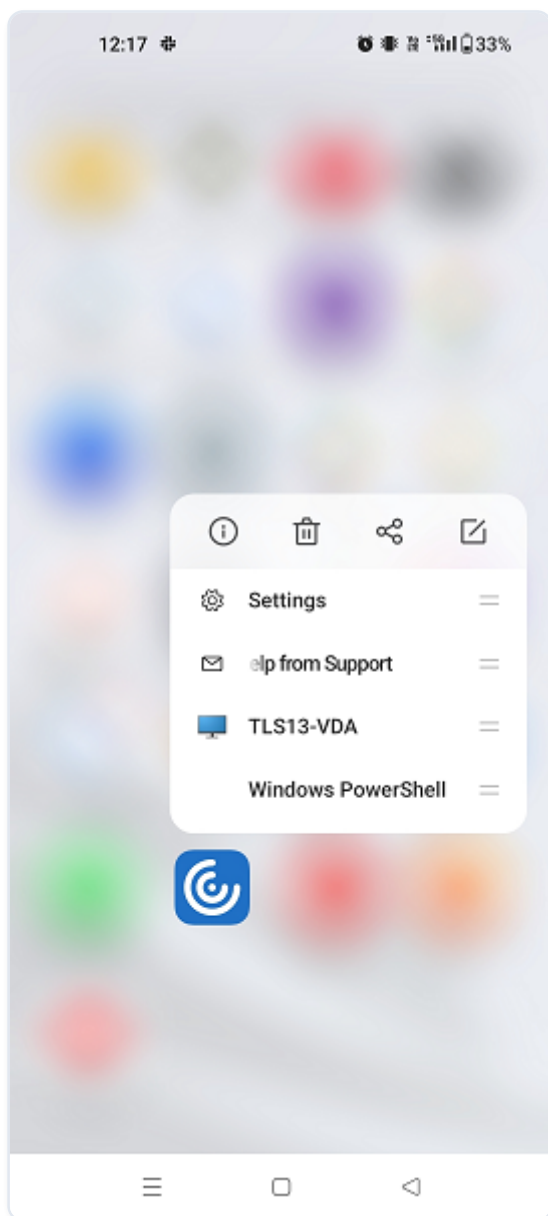
ストアごとのカメラアクセス

クライアント選択的信頼機能により、citrix-workspace-appはVDAセッションからのアクセスを信頼できます。ローカルクライアントドライブや、マイクやWebカメラなどのハードウェアデバイスへのアクセスを許可できます。

以前は、カメラアクセス設定は構成されているすべてのストアに適用されていました。

現在、citrix-workspace-appはカメラにアクセスするためにユーザーの許可を必要とします。カメラアクセスの選択された設定は、ストアごとに適用されます。カメラにアクセスするためのユーザーの許可を次のように提供します。

1. citrix-workspace-appアイコンを長押しし、[アプリ情報]  アイコンをタップします。



2. 「権限」をタップします。

「アプリ情報」 (/en-us/citrix-workspace-app/android/media/appinfo.png)

3. 「カメラ」をタップします。

「アプリの権限」 (/en-us/citrix-workspace-app/android/media/app-permissions.png)

4. 「このアプリの使用中的み許可」を選択します。

「カメラの権限」 (/en-us/citrix-workspace-app/android/media/camera-permission.png)

これで、citrix-workspace-appの使用中にカメラにアクセスできます。

次の手順でアクセスレベルを構成します。

1. citrix-workspace-appを開き、「設定」>「ストア設定」を選択します。
2. 「権限の設定」オプションで、ドロップダウンメニューからストアを選択します。

「カメラ」 (/en-us/citrix-workspace-app/android/media/store-settings-camera.png)

3. 「カメラ」を有効にします。

これで、カメラが有効になり、Androidデバイスでcitrix-workspace-appを使用中にカメラを使用できます。

セッションツールバー

アプリまたはデスクトップセッションを起動すると、セッションツールバーが表示されます。このツールバーは、ショートカットアイコンを使用して最も一般的に使用されるアクションを実行できるように設計されています。

セッションツールバーには、次のオプションがあります。

- ホーム:  ホームアイコンをタップしてセッションを閉じ、citrix-workspace-appのホーム画面に戻ります。
- USB:  タップして**USBデバイス**ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスには、セッションにリダイレクトできるデバイスが一覧表示されます。USBデバイスをリダイレクトするには、適切なデバイスを選択し、**接続**をタップします。

注：

- USBアイコンは、IT管理者がポリシー設定を通じてUSBデバイスを接続するためのアクセスを提供している場合にのみ表示されます。
- キーボード:  キーボードアイコンをタップして、デバイスのソフトキーボードを表示または非表示にします。このアイコンはトグルキーです。
- ポインター:  矢印アイコンをタップして、マウスのように使用します。このアイコンはトグルキーです。
- 拡大鏡:  拡大アイコンをタップして、特定の領域を拡大し、ポイントします。
- パン:  タップすると、画面内を簡単に移動できます。
- スクロールモード:  タップすると、ページをスクロールできます。
- マルチタッチ:  タップすると、セッション内でピンチイン/アウト、スクロール、およびマルチフィンガージェスチャを使用できます。
- ハンド:  タップすると、さまざまなジェスチャを表示できます。

詳細については、Citrix Workspaceアプリ for Androidの[ジェスチャの学習](#) ヘルプドキュメントを参照してください。

- アプリ切り替え:  同じセッションにある複数の公開済みアプリを切り替えるには、タップします。詳細については、[アプリ切り替え](#)製品ドキュメントを参照してください。
- X:  セッションを終了するには、タップします。

注:

イマーシブモードの場合、機能は同じですが、セッションツールバーの表示は異なります。

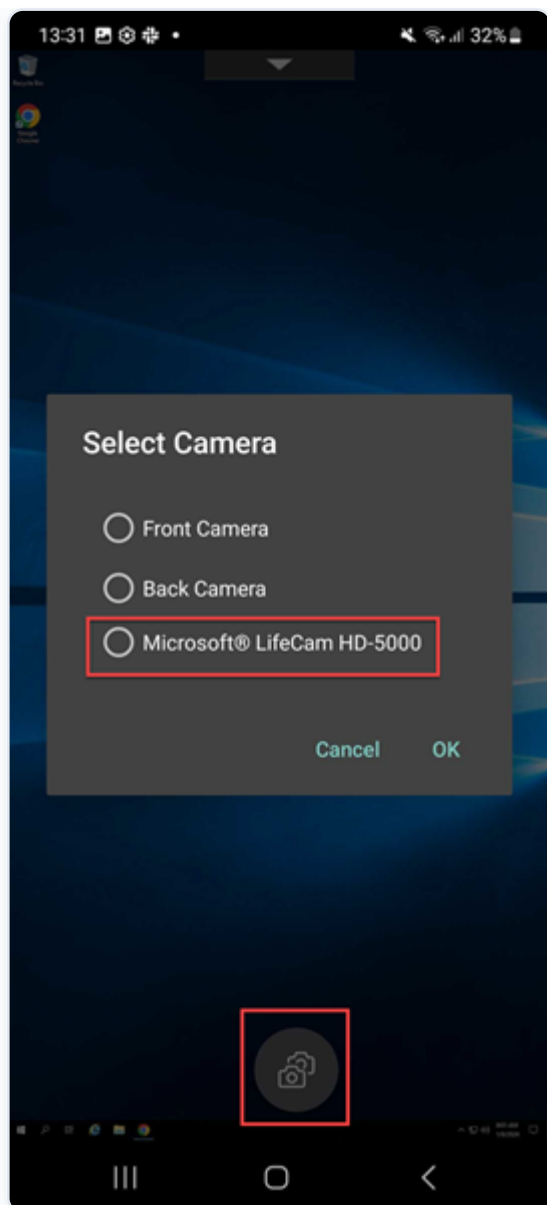
セッションエクスペリエンス

外部Webカメラのサポート

Android版Citrix Workspaceアプリは、セッション内で外部接続されたWebカメラをサポートするようになりました。USB Webカメラを接続し、カメラアイコンをクリックして外部Webカメラ名を選択することで、ビデオ会議に利用できます。これにより、エンドユーザーが利用できるリソースを活用して、セッションエクスペリエンスが向上します。

注：

外部Webカメラの名前は、外部カメラが検出された後にのみ表示されます。



次回ビデオ会議アプリを使用する際、システムは設定を記憶し、それに応じてカメラ設定を使用します。たとえば、前回のビデオ通話を外部Webカメラの設定で完了した場合、次回は外部Webカメラがデフォルトで選択されます。

画面上のカメラアイコンをタップすることで、カメラ設定を変更できます。通話中にもカメラ設定を変更できます。

注：

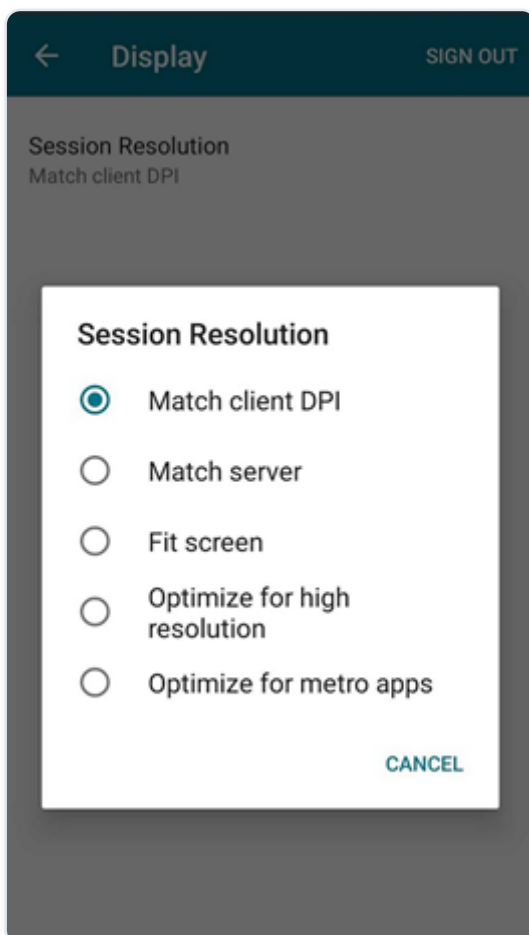
- 外部カメラを取り外すと、フローティングの複数カメラアイコン  がフリップボタン  に変わります。「カメラの選択」ダイアログが開いている場合は閉じ、VDA上の外部カメラビューは応答なくなります。

- この機能は、オンプレミスおよびクラウド展開の両方に適用されます。

DPIマッチング

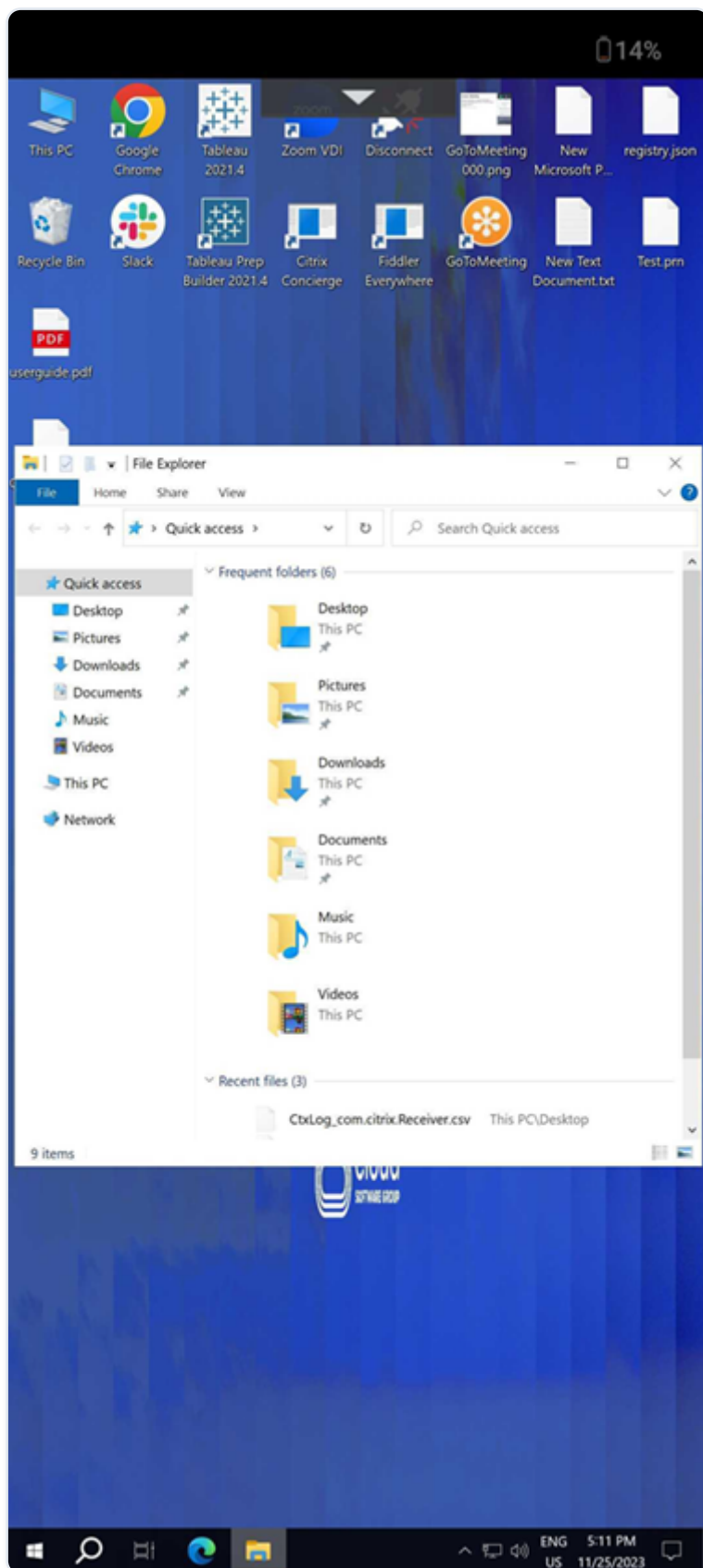
DPIマッチング機能により、仮想セッションがデバイスのDPIに応じてレンダリングされるようになります。以前は、高DPIの携帯電話やタブレットでも、セッション表示にデバイスのDPIが考慮されていませんでした。24.1.0リリース以降、新しい表示設定によりDPIマッチングを実現できます。

デバイスで、Android版Citrix Workspaceアプリの **設定 > 一般 > 表示 > セッション解像度** に移動し、「クライアントDPIに合わせる」オプションを選択します。

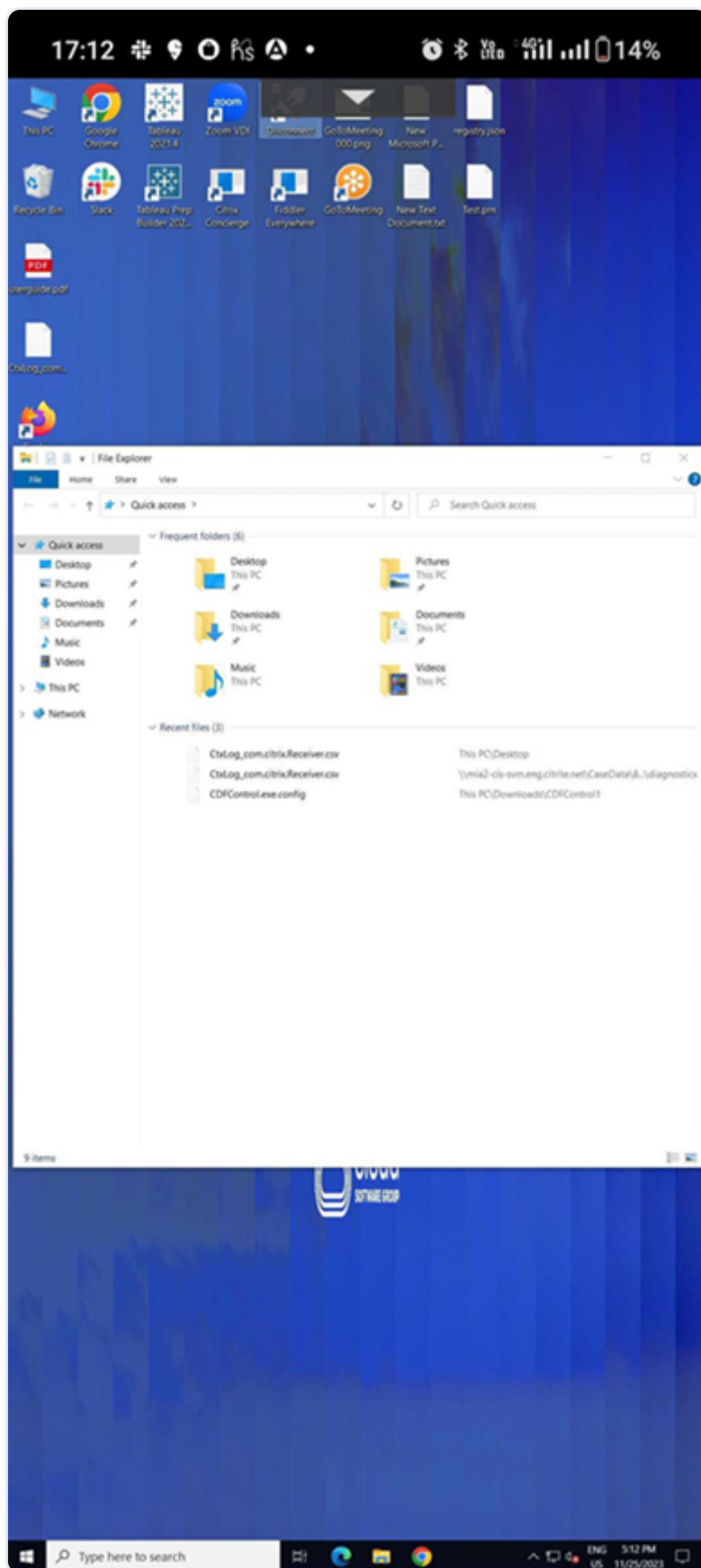


つまり、citrix-workspace-app は、Android デバイスのディスプレイ解像度と DPI スケール設定を Citrix セッションに自動的に一致させようとします。この機能により、電話やタブレットの DPI に応じてセッションが表示されるため、ユーザーエクスペリエンスが向上します。セッションアイコン、テキスト、画像の鮮明度が向上し、より読みやすくなりました。

たとえば、**Match client DPI** オプションを選択すると、セッションアイコン、テキスト、画像が鮮明になります。



対照的に、**Fit screen** オプションを選択すると、セッションアイコン、テキスト、画像が小さくなります。



注：

外部モニターを接続すると、Android の制限により、セッションはプライマリデバイスの DPI で引き続きレンダリングされます。

外部キーボードのスキャンコード入力モード

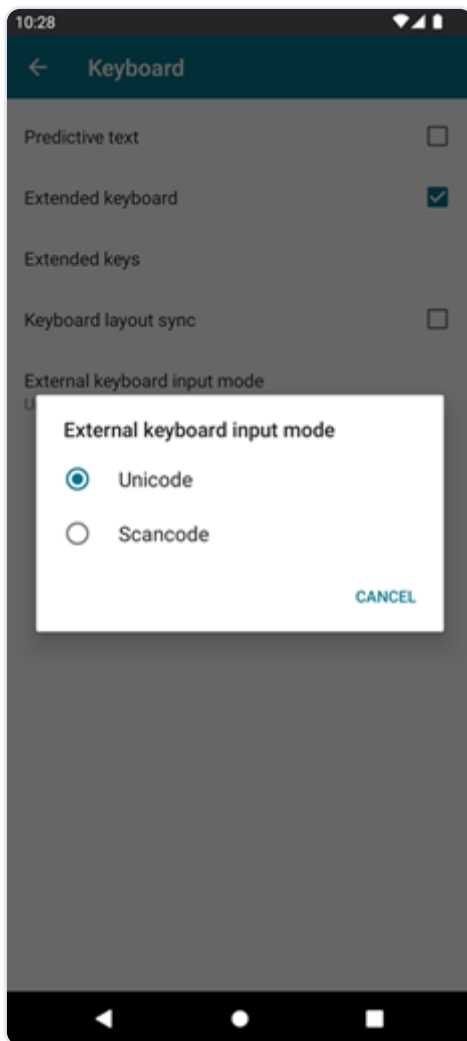
24.1.0 リリース以降、外部物理キーボードを使用する際に、キーボード入力モードとしてスキャンコードを選択できるようになりました。この機能は、Android デバイスを外部の Windows PC の標準キーボードで使用する場合に役立ちます。Samsung DeX 機能の使用に似ています。

スキャンコードを使用すると、Android のソフトウェアキーボードではなく、VDA のキーボードレイアウトを使用できます。これにより、Android ではなく Windows の入力スタイルに完全に従うことができます。東アジア言語で入力する場合に非常に役立ち、全体的なユーザーエクスペリエンスが大幅に向上します。エンドユーザーは、クライアントではなくサーバーのキーボードレイアウトを使用していることに気づくかもしれません。詳細については、この記事の[ユースケースセクション](#)を参照してください。

機能の使用方法

スキャンコード機能を使用するには：

1. Android 用 Citrix Workspace アプリを開き、**設定 > 一般 > キーボード** に移動します。
2. **外部キーボード入力モード** をタップします。



3. 以下のいずれかのオプションを選択します。

- **スキャンコード** - クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置を送信し、VDAが対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
- **Unicode** - クライアント側のキーボードからVDAにキーを送信し、VDAがVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。

デフォルトでは、外部キーボード入力モードとして**Unicode**が選択されています。

4. **スキャンコード**をタップします。

セッション中に、IME機能を使用してリモートキーボードを切り替え、サーバーのキーボードレイアウトで入力できます。

ユースケース

たとえば、Androidデバイスに接続されたUSインターナショナルキーボードレイアウトを使用しているシナリオを考えてみましょう。

スキャンコードを選択し、外部キーボードのCaps Lockの隣にあるキーを入力すると、スキャンコード **1E** がVDAに送信されます。VDAはその後、**1E** を使用して文字 **a** を表示します。

Unicodeを選択し、外部キーボードのCaps Lockの隣にあるキーを入力すると、文字 **a** がVDAに送信されます。そのため、VDAが同じ位置に異なる文字を持つ別のキーボードレイアウトを使用している場合でも、文字 **a** が画面に表示されます。

注:

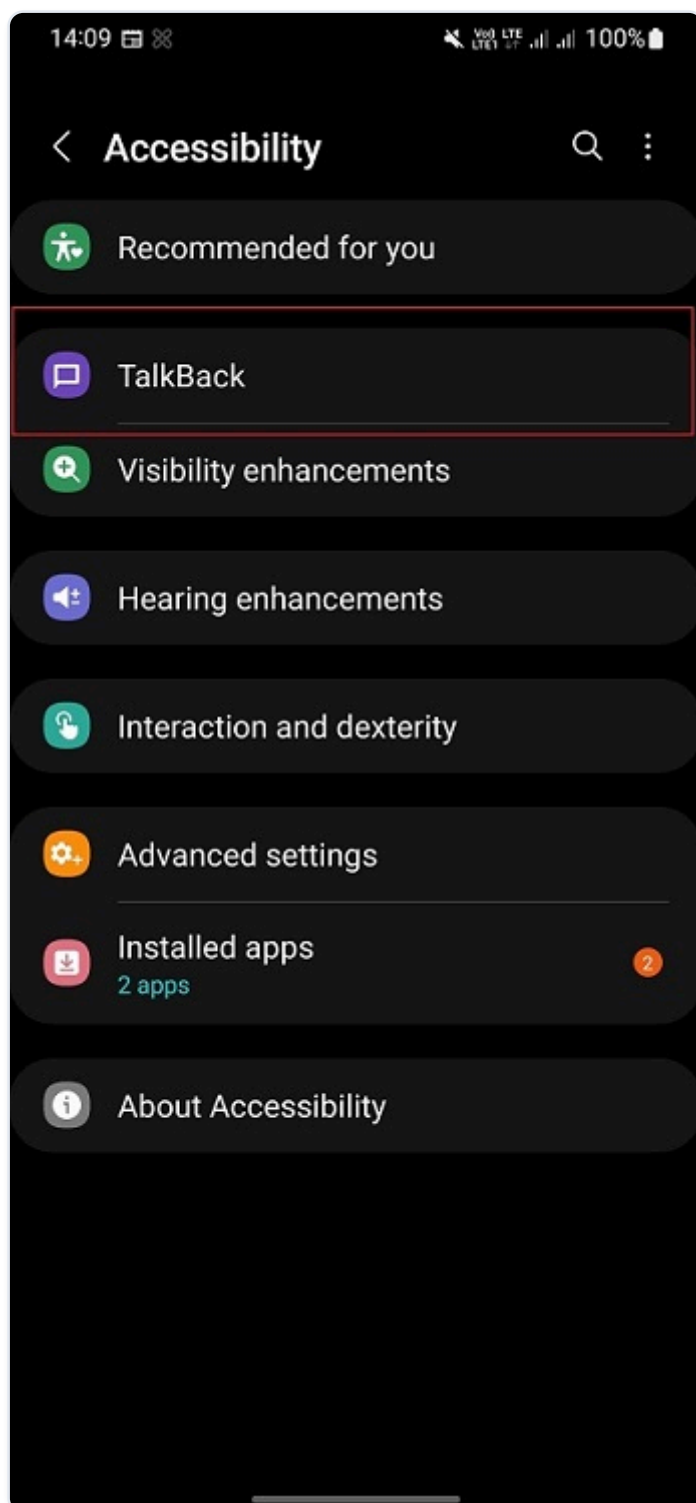
モバイルデバイスでタッチキーボードを使用する場合、Unicodeはタイピングに推奨されるモードです。これは、タッチキーボードのキーが通常スキャンコードを生成しないためです。

アクセシビリティとTalkBack

citrix-workspace-appは、TalkBack機能により強化されたユーザーエクスペリエンスを提供します。TalkBack機能は、画面が見えにくいエンドユーザーを支援します。UIを使用する際、ナレーターが画面要素を読み上げます。

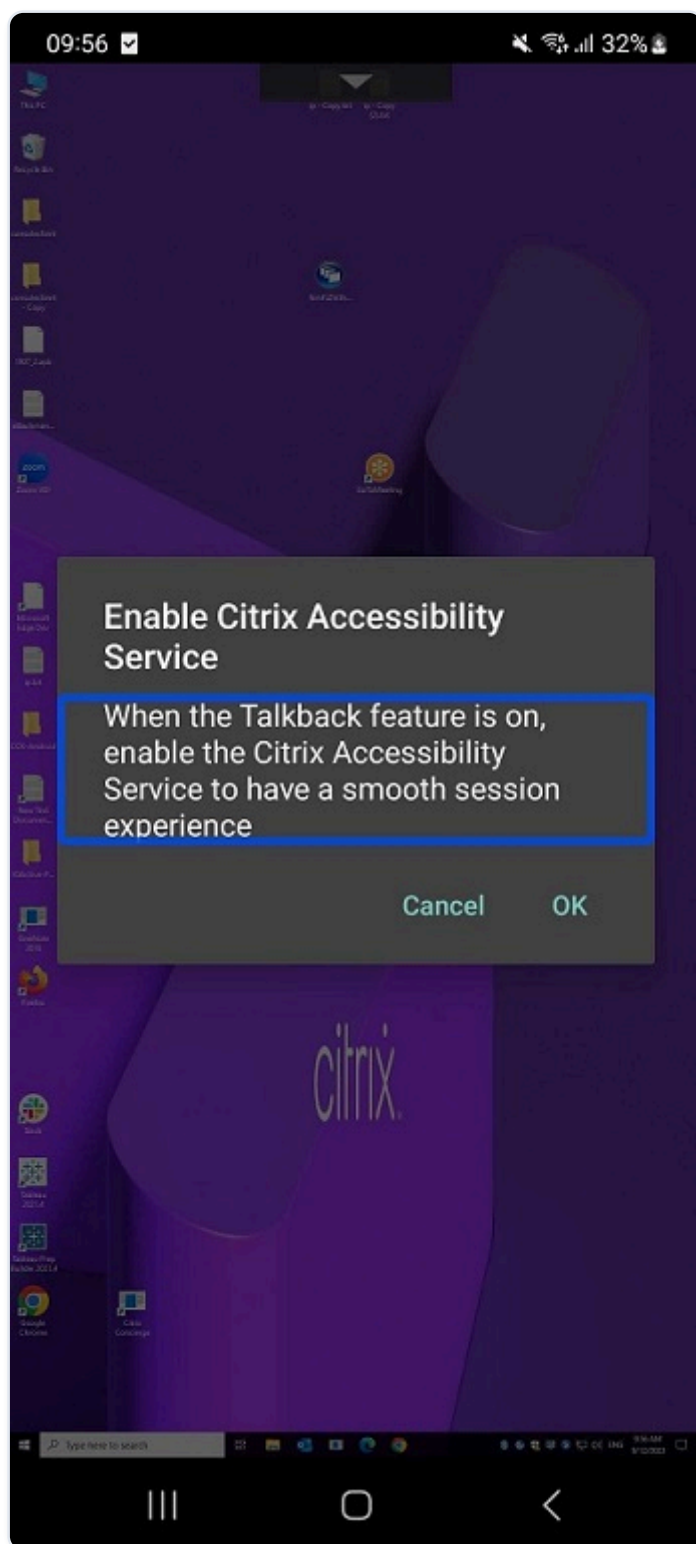
AndroidのTalkBack機能を使用するには：

1. エンドユーザーは、Androidの**設定 > ユーザー補助 > TalkBack**からTalkBack機能を有効にする必要があります。

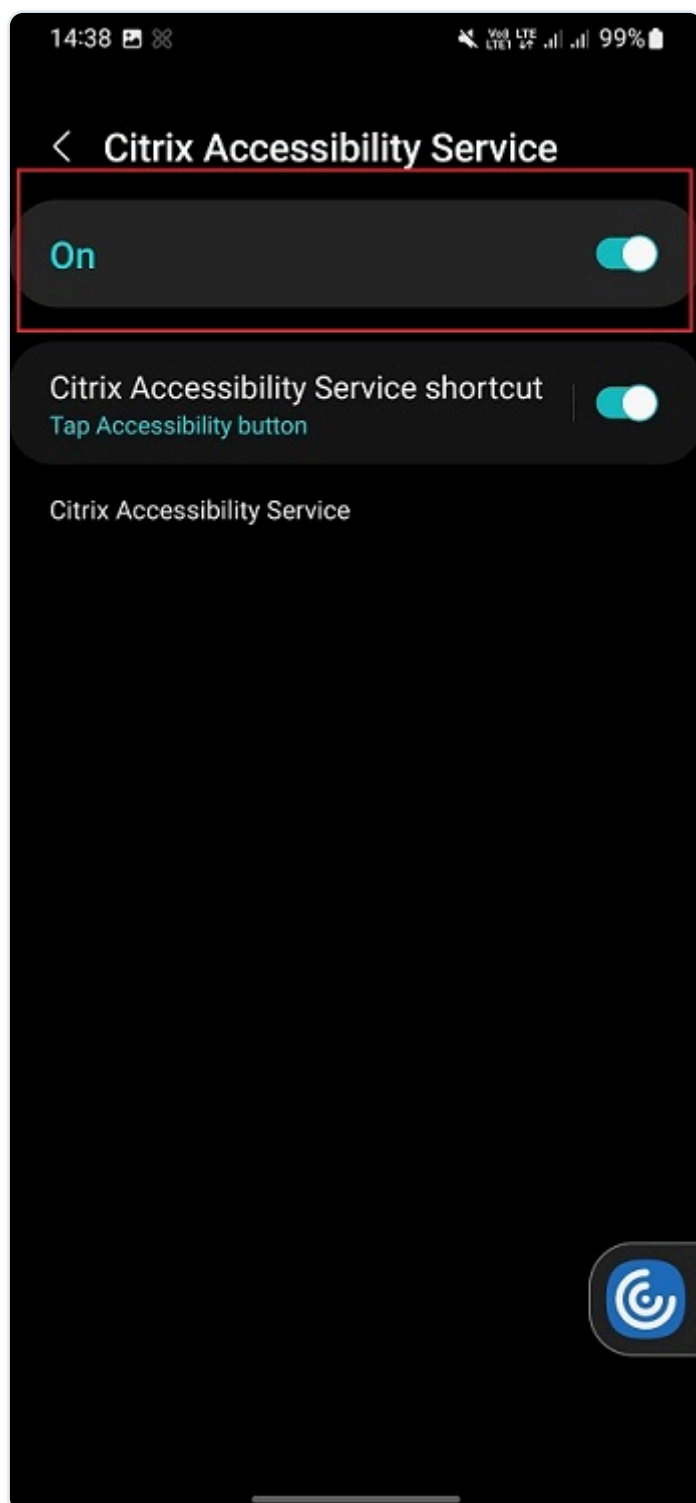


2. TalkBack機能で仮想デスクトップセッションを使用するには、エンドユーザーはAndroidの**設定 > ユーザー補助 > インストール済みアプリ > Citrix Accessibility Service**からCitrix Accessibility Serviceを有効にするためのダイアログを受け取ります。

一部のデバイスでは、パスが**設定 > ユーザー補助 > Citrix Accessibility Service**となる場合があります。



3. **OK**をタップします。



4. TalkBack機能を使用するには、**Citrix Accessibility Service**オプションを有効にします。

注:

セッション中にデバイスでTalkBack機能が有効になっている場合、エンドユーザーは2本指の長押しを使用してCitrix Workspaceアプリのツールバーにアクセスできます。

この機能の既知の問題

- 外部キーボードをデバイスに接続した場合：
 - CapsLockキーをナレーターキーとして使用しようとする、期待どおりに動作しない場合があります。回避策として、Insertキーを押してください。
 - ナレーターを有効にするためにWin+Ctrl+Enterのキーの組み合わせを使用しようとしても、仮想デスクトップセッション内では効果がありません。回避策として、Winキーまたはスタートメニューを使用して「ナレーター」と入力してください。

セッションツールバーへのCtrl+Alt+Delショートカットの追加

23.9.5バージョン以降、セッションツールバーには、ボタンをタップするだけでCtrl+Alt+Del機能を実行するオプションが追加されました。このオプションにより、ユーザーはサインアウト、ユーザーの切り替え、デバイスのロック、またはタスクマネージャーへのアクセスが容易になります。

ショートカット(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/ctrl-alt-del.png)

ドキュメントスキャナー

citrix-workspace-appにサインインしている場合、ドキュメントスキャナー機能を使用して多数のドキュメントをスキャンし、スキャンしたドキュメントをデスクトップセッションに転送できます。

注:

- この機能はデフォルトで有効になっています。

前提条件

- ストアに対して**クライアントドライブマッピング (CDM)**を有効にする必要があります。
- ドキュメントスキャナーには、デバイスへの読み取りおよび書き込みアクセスが必要です。アクセスを有効にするには、次の手順に従います。
 - プロファイルから、アプリケーションの**設定 > ストア設定**をタップします。
 - 現在のストアをタップします。

- c. デバイスストレージをタップし、フルアクセスを選択します。

機能の使用方法

ドキュメントをスキャンするには：

1. セッション内ツールバーから、ドキュメントスキャナーアイコンをタップします。

「アイコン」 (/en-us/citrix-workspace-app/android/media/rapid-scan-icon.png)

2. スキャンを開始するには、**画像の追加**をタップします。

「ドキュメントスキャン画面」 (/en-us/citrix-workspace-app/android/media/rapid-scan-screen.png)

カメラアプリが開き、写真の撮影を開始できます。

3. (オプション) スキャンしたドキュメントをトリミングします。必要なサイズにトリミングした後、**トリミング**をタップします。

「ドキュメントスキャンのトリミング」 (/en-us/citrix-workspace-app/android/media/rapid-scan-crop.png)

4. オプションから選択して、ファイルを必要な形式で保存します。

「ドキュメントスキャン形式」 (/en-us/citrix-workspace-app/android/media/rapid-scan-format.png)

5. **保存**をタップします。

スキャンされたすべてのドキュメントは、デバイスの外部ストレージにある

CitrixRapidScanDocuments フォルダー内にあります。スキャンされたドキュメントには、以下からアクセスできます。

- デバイス上のファイルマネージャー
- 仮想デスクトップ上のクライアントドライブマッピング (CDM)。

設定

「設定」タブの下に、次のオプションが一覧表示されます。

- アカウントの管理
- ストア
 - ストア設定
- 全般
 - ディスプレイ
 - キーボード
 - オーディオ
 - セキュリティトークン
 - トランスポート層セキュリティ (TLS) バージョン
 - Citrix キャスティング
 - サービス継続性
 - 詳細設定
- ヘルプとサポート
- Citrix にフィードバックを送信
- ヘルプ
- エクスペリエンスを評価
- バージョン情報

アカウントの管理

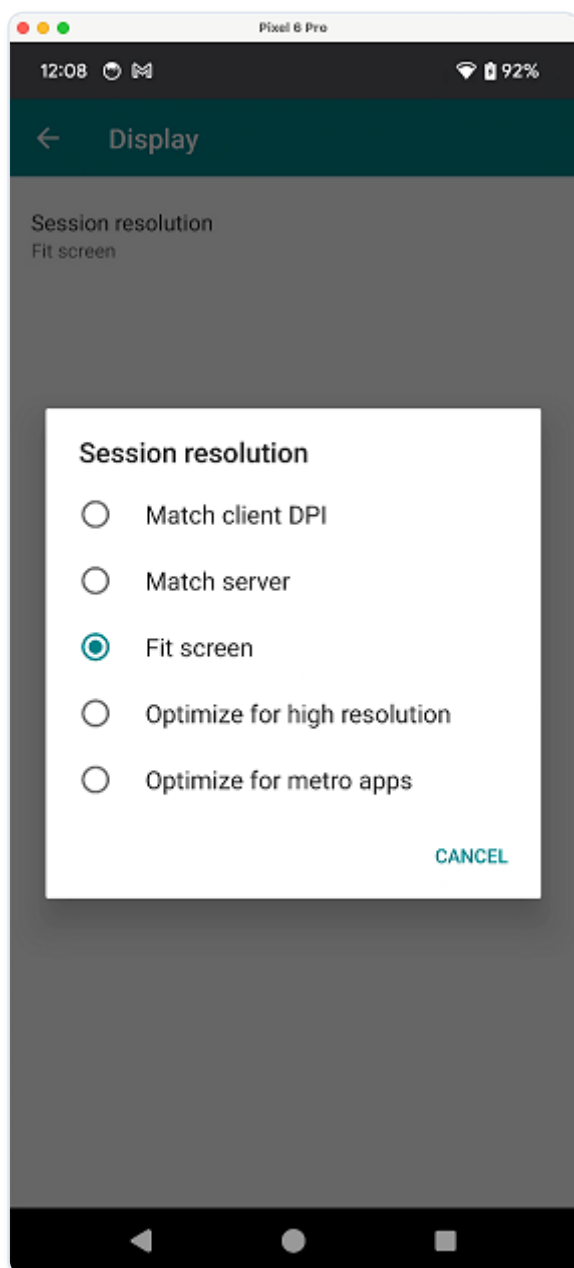
アカウントの管理オプションを使用して、構成済みのストアのリストを表示したり、ストアを追加したりできます。

全般

次の設定は、**全般**タブに表示されます。

ディスプレイ

画面の解像度オプションを使用して、セッション表示の解像度サイズを選択します。このオプションで設定された解像度は、デバイスで設定された表示設定とは独立しています。デフォルトでは、画面の解像度は**画面に合わせる**に設定されています。

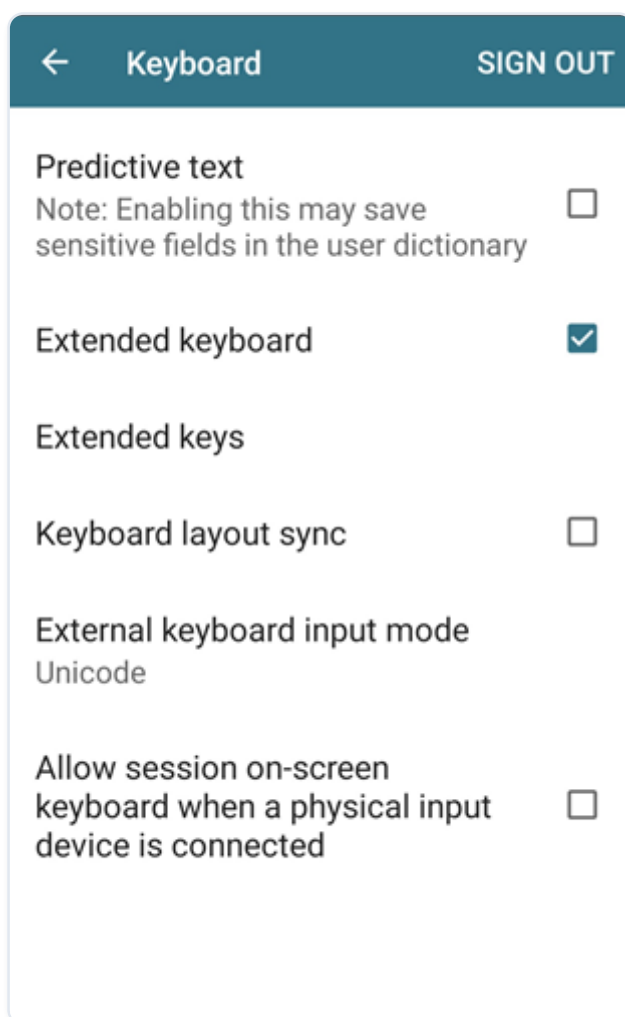


次の解像度オプションのいずれかを選択します。

- **クライアントDPIに合わせる** – リモートデスクトップに存在するDPIスケーリング設定が、デバイスのDPI設定と一致するようにします。一般に、表示の鮮明さは解像度だけでなく、ピクセル密度（DPI）にも依存します。詳しくは、「[DPIマッチング](#)」を参照してください。
- **サーバーに合わせる** – サーバーで設定された解像度がクライアントで使用され、サーバーの解像度と一致することを示します。
- **画面に合わせる** – デフォルトのオプションです。解像度は、モバイル、タブレットなどのデバイスディスプレイのサイズに合わせて調整されます。Workspaceアプリにアクセスしている場所に応じて、解像度が一致します。
- **高解像度向けに最適化** – 解像度は常に高解像度を目指し、より良い表示を実現します。
- **メトロアプリ向けに最適化** - このオプションを使用すると、画面とアプリがわずかに大きく表示されます。

キーボード

以下のスクリーンショットは、キーボードオプションを示しています。



予測入力

テキストフィールドに入力する際に候補の単語を有効にするには、**予測入力オプション**を選択します。

予測入力の管理

予測入力は、次に入力できる単語を提案することで、より良い入力体験を促進します。アプリまたはデスクトップセッション中にこの機能を有効にすると、パスワードが予測リボンに表示される可能性があります。この動作を制御するため、この機能はデフォルトで無効になっています。

注：

- デバイスのデフォルトのキーボード設定で**予測入力オプション**が無効になっている場合、Citrix Workspaceアプリ for Androidで有効にしても、この機能を使用することはできません。
- セッション中に、GBoardキーボードで中国語、日本語、または韓国語（CJK）の入力レイアウトがデフォルトとして設定されている場合、CJKレイアウトの代わりに英語レイアウトが表示されます。CJKキーボードレイアウトを表示するには、アプリの**設定 > キーボード**に移動し、**予測入力オプション**を有効にします。

拡張キーボード

セッションで**拡張キー**を有効または無効にします。

拡張キー

特別なタスクを実行するようにキーを設定できる**拡張キーオプション**を選択します。たとえば、Alt + Ctrl + Function キーは**拡張キーオプション**を使用して設定できます。設定後、この拡張キー（Alt + Ctrl + Function）は拡張キーボードの一部として表示されます。

Android 版 Citrix Workspace アプリのツールバーにある拡張キーを使用すると、セッション内でより多くのキーを使用できます。エンドユーザーは、クイックアクションのためにキーを選択できます。

この機能は、より良いユーザーエクスペリエンスを提供するために強化されています。以下にその強化点を示します。

- 拡張キーボードUIをピン留めまたはピン留め解除する。
- 画面の向きと同期した拡張キーボードの回転。
- Windowsアイコンキーと3キーの組み合わせショートカットをサポート。
- 複数モニター使用シナリオでのエクスペリエンスを向上。
- 拡張キーボードUIの自動開閉。

追加のキーまたはキーの組み合わせショートカットを表示するには、キーボード () アイコンをタップします。



タブレットまたは電話で

利用可能なキーを表示するには、キーボード () アイコンをタップします。特定のキーをタップして拡張キーを選択します。

以下のスクリーンショットは、拡張キーボードセクションを示しています。



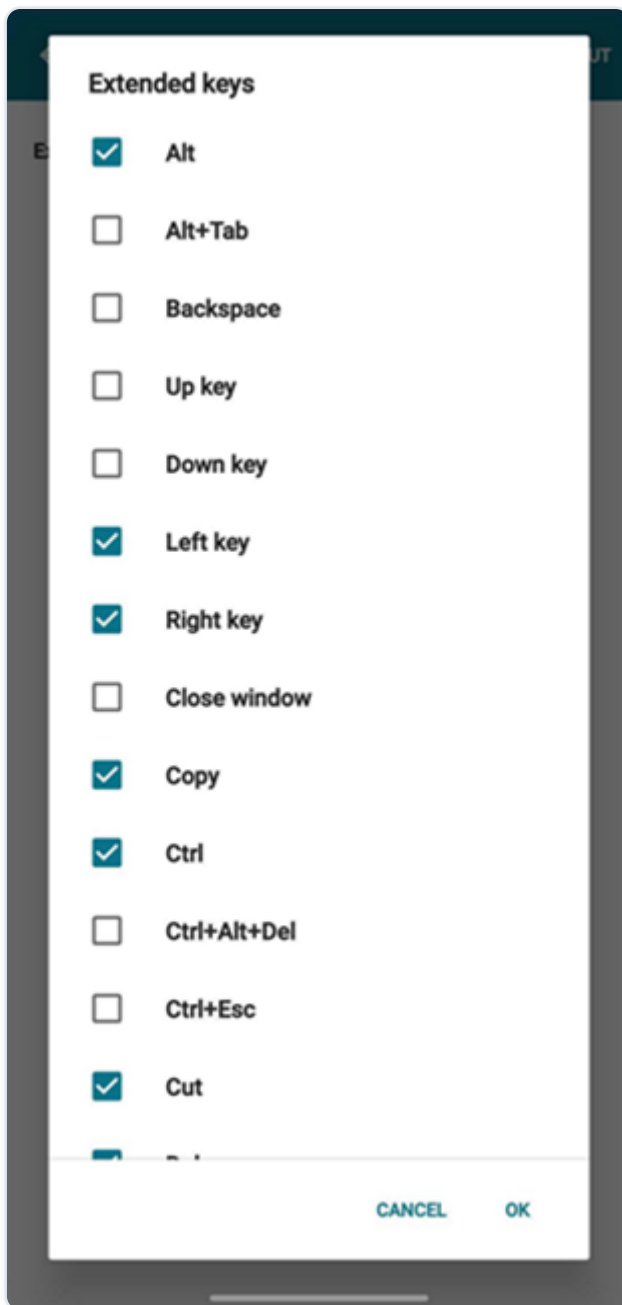
1 - 拡張キー

2 - 設定

3 - ピン留めまたはピン留め解除

キーを構成するには:

1. citrix-workspace-app の **設定 > 拡張キー** に移動します。
2. トグルボタンを使用して、拡張キーボードを構成できるようになりました。



注:

ピン留めまたはピン留め解除を使用してキーボードを開いたり閉じたりします。

キーボードレイアウトの同期

VDAのキーボードレイアウトをクライアントデバイスのキーボードレイアウトと自動的に同期します。

キーボードレイアウトの同期が無効になっている場合、デバイスの現在の入力方式に応じて、VDA側（リモート）IMEとクライアント側IMEの両方が有効になります。たとえば、クライアント側IMEが英語で、VDA側IMEが日本語の場合、VDA側（リモート）IMEが有効になります。

キーボードレイアウトの同期が有効になっている場合、クライアント側IMEが優先されます。クライアント側IMEで入力言語を変更すると、VDA側IMEもそれに応じて変更されます。たとえば、クライアント側IMEを日本語に変更すると、VDA側IMEも日本語に変更されます。同時に、セッション中はクライアントデバイスの日本語IMEが使用されます。

外部キーボード入力モード

外部物理キーボードを使用しているときに、キーボード入力モードとしてScancodeを選択できます。この機能は、Androidデバイスを外部Windows PCの標準キーボードと組み合わせて使用する場合に役立ちます。Samsung DeX機能の使用に似ています。

次のいずれかのオプションを選択します：

- **スキャンコード** - クライアント側のキーボードからVDAにキーの位置を送信し、VDAが対応する文字を生成します。サーバー側のキーボードレイアウトが適用されます。
- **Unicode** - クライアント側のキーボードからVDAにキーを送信し、VDAがVDA内で同じ文字を生成します。クライアント側のキーボードレイアウトが適用されます。

詳細については、「[外部キーボードのスキャンコード入力モード](#)」を参照してください。

物理入力デバイス接続時にセッションのオンスクリーンキーボードを許可する

ハードウェアキーボードなどの物理入力デバイスを携帯電話に接続し、物理入力デバイス接続時にセッションのオンスクリーンキーボードを許可するオプションを選択すると、セッションツールバーのキーボード () アイコンをタップしたときにソフトツールバーが表示されます。

オーディオ

IT管理者がモバイルデバイスのオーディオを有効にしている場合、citrix-workspace-appのアプリケーションを使用して、会議、トレーニングセッション、またはウェビナーのオーディオを聞くことができます。

注：

この設定では、聞くことのみが可能です。citrix-workspace-appは双方向オーディオを提供していません。

セキュリティトークン

セキュリティトークンは、構成されたストアがRSA対応の場合にのみクライアントで有効にできます。

デバイスでソフトウェアトークンをインストールする前に、認証に必要な日付と時刻が正しいことを確認してください。

1. デバイスで、トークンのファイル名拡張子である `.sdtid` ファイルを含むメールを開きます。
2. ファイルをタップ（またはダブルタップ）して実行し、トークンをインストールします。

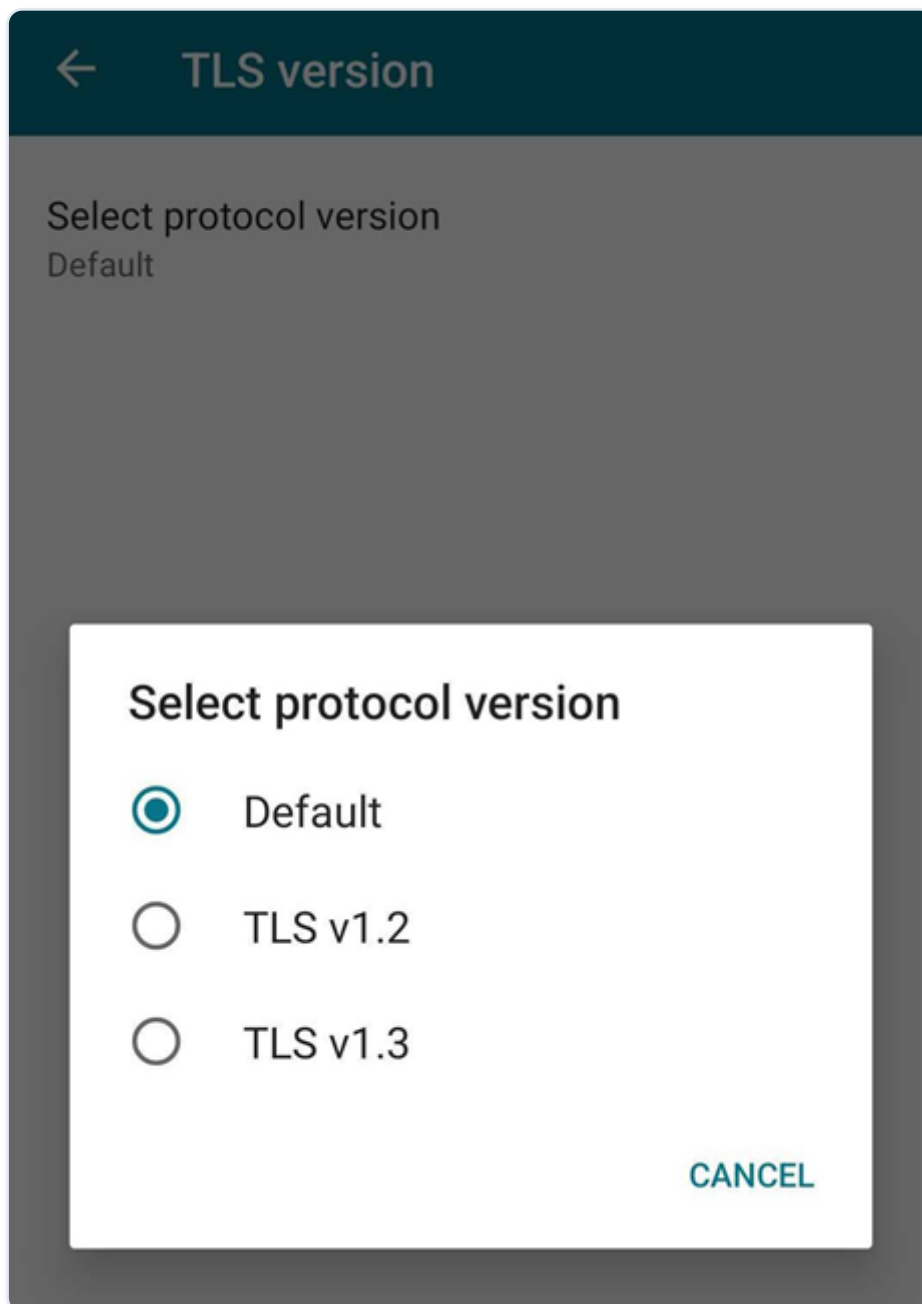
ソフトウェアトークンをインストールした後、citrix-workspace-appで**Android**アイコンをタップし、**アカウント**を選択してアカウントを管理します。

- **トークンシリアル番号** – セキュリティトークンのシリアル番号を表示します。
- **トークン有効期限** – セキュリティトークンの有効期限を表示します。
- **RSAソフトウェアトークン** - クライアントでRSAトークンを有効または無効にするためのフラグです。
- **パスコードの取得** - パスコードを表示します。
- **トークンの削除** - クライアントから保存されたトークンを削除します。

Transport Layer Security (TLS) バージョン

このオプションを使用して、TLSの最小バージョンを選択します。デフォルトでは、クライアントのTLSバージョンは**Default**に設定されています。その他の利用可能なオプションは次のとおりです。

- TLS v1.2
- TLS v1.3



Citrix キャスティング

Citrix Castingは、デジタル環境と物理環境を組み合わせ、安全なスマートスペース内でアプリとデータを提供します。この完全なシステムは、モバイルアプリやセンサーなどのデバイス（またはモノ）を接続し、インテリジェントで応答性の高い環境を構築します。

Citrix Ready workspace hubはCitrix Castingを有効にし、モバイルセッションをハブに安全に転送できるようにします。

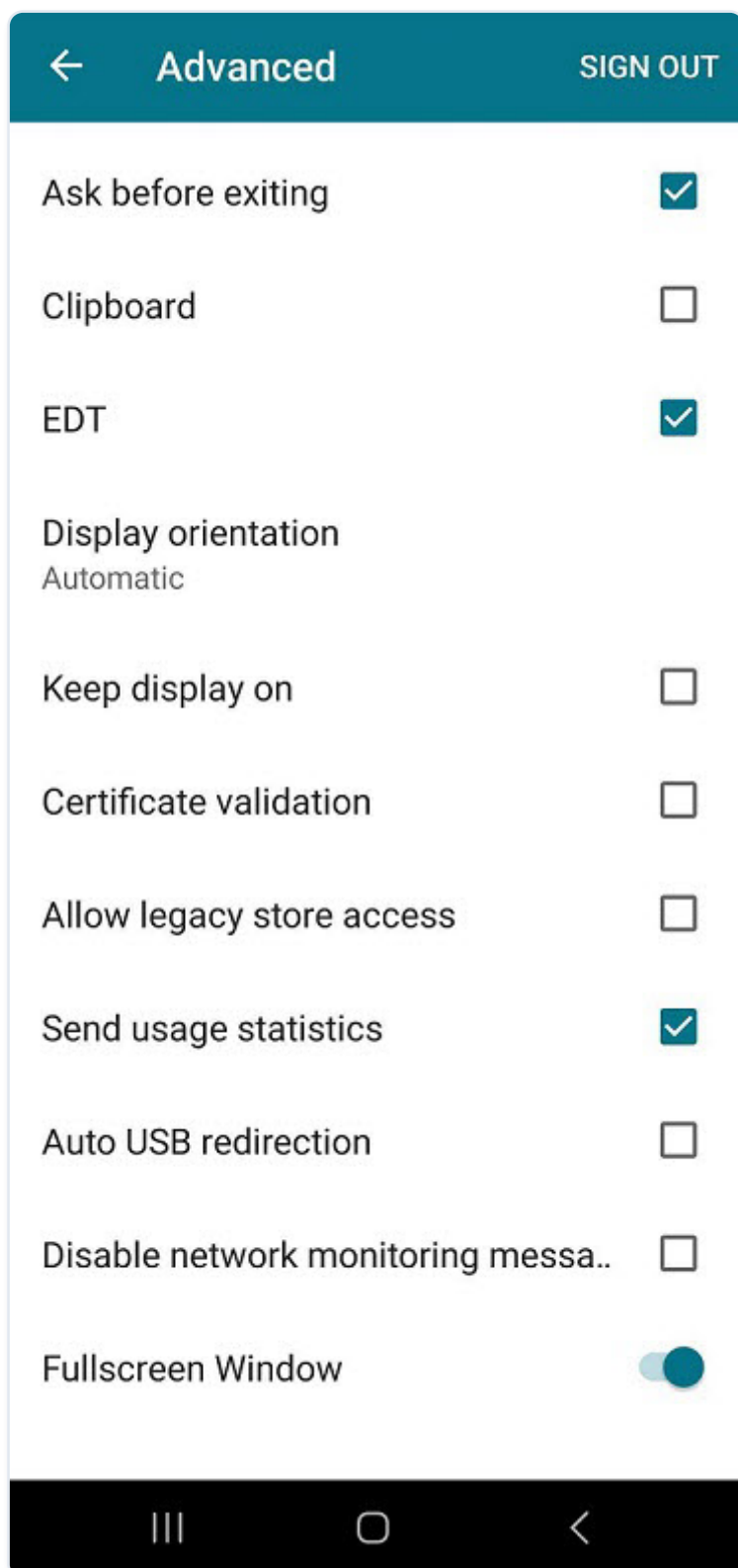
詳細については、[Citrix Ready workspace hub](#)を参照してください。

サービス継続性

サービス継続性により、接続プロセスに関わるコンポーネントの可用性への依存が排除または最小限に抑えられます。クラウドサービスの健全性ステータスに関わらず、Citrix DaaSアプリとデスクトップを起動できます。サービス継続性により、ユーザーデバイスがリソースロケーションへのネットワーク接続を維持している限り、停止中でもユーザーはDaaSアプリとデスクトップに接続できます。

詳細設定

詳細設定オプションから、以下のオプションを設定できます。



1. 終了前に確認 – citrix-workspace-appは、終了を確認するためのプロンプトを表示します。
2. クリップボード – このオプションを使用すると、セッション内で切り取り、コピー、貼り付けなどのクリップボード操作を使用できます。
3. EDT - データ転送を最適化するために、可能な限りTCPよりもEnlightened Data Transport (EDT) を選択するようにcitrix-workspace-appに許可します。

4. EDTスタックパラメーター - このオプションを使用して、EDTの**CustomMTU**設定を有効にします。
5. 画面の向き - このオプションを使用すると、デバイスの位置に基づいて画面の向きを選択できます。デフォルトでは、**自動**が選択されています。**縦向き**または**横向き**モードに設定することもできます。
6. ディスプレイをオンのままにする - このオプションを使用すると、画面をスリープ状態にすることなく、ディスプレイをアクティブな状態に保つことができます。
7. 証明書の検証
8. レガシーストアへのアクセスを許可 - 古いバージョンのストアにアクセスできるようにします。
9. 使用状況統計を送信 - このオプションは、citrix-workspace-appから匿名の構成、イベント、プロパティ、および使用状況データを収集します。このデータは、Citrix Workspaceアプリの品質、信頼性、およびパフォーマンスの向上に役立てるため、Citrixに自動的に送信されます。お客様の環境からユーザーを特定できる情報は収集されません。

注：

この設定を無効にしても、IT管理者が有効にしている可能性のある他のログ記録は無効になりません。

10. 自動USBリダイレクト - このオプションは、クライアントマシンからVDAへの任意のUSBデバイスの自動リダイレクトを有効にします。
11. ネットワーク監視メッセージを無効にする - このオプションは、ネットワークに関するメッセージを無効にします。これらのメッセージは、ネットワークパフォーマンスを監視し、すべてのリソースが最適に使用されていることを確認するのに役立ちます。
12. 全画面表示ウィンドウ - アプリセッションを全画面モードで表示できます。

アプリセッションの全画面モードのサポート

以前は、アプリセッションを開始すると、ウィンドウモードで表示されていました。

バージョン23.9.5以降、Android向けCitrix Workspaceアプリでは、アプリセッションを全画面モードで表示する新しいオプションが導入されました。この機能は、次のような場合に役立ちます。

- タッチデバイスで完全没入モードでセッションを開始する
- 画面を複製してキャストしようとする

- 小さな画面でcitrix-workspace-appを表示する。

このオプションを有効にするには、Android向けCitrix Workspaceアプリの >> に移動し、オンに切り替えます。次のスクリーンショットにオプションが表示されます。

設定(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/full-screen-settings.png)

ヘルプとサポート

Citrixにフィードバックを送信

オプションをタップします。フィードバックを送信したいコンポーネントまたは製品をダブルタップします。

ページが表示されます。

問題の報告(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/report-an-issue.png)

必要な情報を提供し、**送信**をクリックしてフィードバックを送信します。スクリーンショットを追加することもできます。

Citrixがトラブルシューティングを行い、複雑な問題の場合にはサポートを容易にするために、**ログオプション**をタップします。

ログオプション(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/log-options.png)

ログオプションダイアログでは、次のことができます。

- ログファイルをアップロードする
- 優先度を設定する
- ログ履歴をクリアする
- 問題を再現する

ヘルプ

ユーザーヘルプドキュメントを開くには、**ヘルプ**をタップします。

エクスペリエンスを評価する

citrix-workspace-appの使用体験について評価を提供するには、**エクスペリエンスを評価する**をタップします。

バージョン情報

citrix-workspace-appの詳細情報を取得するには、バージョン情報をタップします。

トラブルシューティング

アプリのバージョンを確認する方法

使用しているAndroid版Citrix Workspaceアプリのバージョンを確認するには、次の手順を実行します。

1. citrix-workspace-appを開きます。
2. **設定**をタップします。
3. 下にスクロールして、**バージョン情報**をタップします。

アプリのバージョン(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/app-version.png)

最新バージョンにアップグレードする方法

citrix-workspace-appを手動で最新バージョンにアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. Playストアを開きます。
2. Citrix Workspaceを検索します。

更新が利用可能な場合は、**更新**をタップします。

アプリを自動的に更新する

デフォルトでは、次の条件が満たされるとアプリは自動的に更新されます。

- デバイスがWi-Fiネットワークに接続されている。
- デバイスが充電中である。
- デバイスがアイドル状態である（アクティブに使用されていない）。
- citrix-workspace-appがフォアグラウンドで実行されていない。

注:

Google Playストアは1日に1回アプリの更新を確認します。そのため、アプリの更新が更新キューに追加されるまでに最大24時間かかることがあります。アプリがキューに追加されると、条件が満たされた次のタイミングで自動的に更新されます。

citrix-workspace-appをリセットする方法

アプリをリセットするには、次のいずれかの操作を行います。

- citrix-workspace-appのストレージデータをクリアします。Androidデバイスの**設定 > アプリ > citrix-workspace-app**を選択 > **ストレージ > キャッシュを消去**に移動します。

または

- citrix-workspace-appをアンインストールし、最新の修正プログラムが適用された最新のCitrix Workspaceアプリを[Google Play](#)からインストールします。

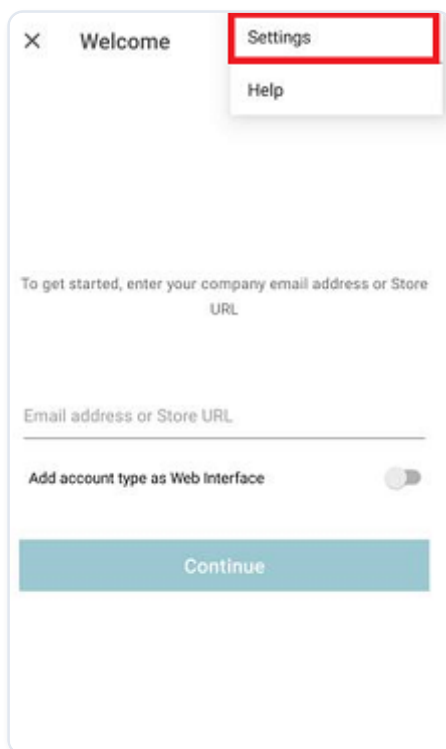
注

citrix-workspace-appから既存のアカウントを削除すると、アカウントがリセットされるだけで、citrix-workspace-app自体がリセットされるわけではありません。

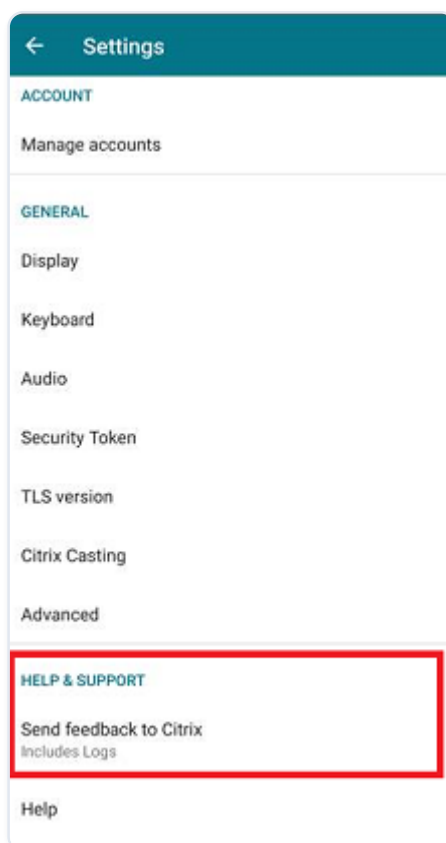
ログを収集する方法

ログを収集するには、次の手順に従います。

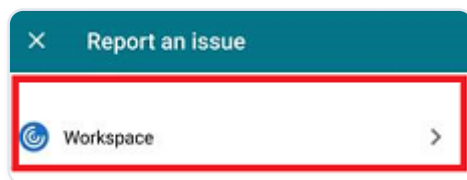
1. **設定**をタップします。



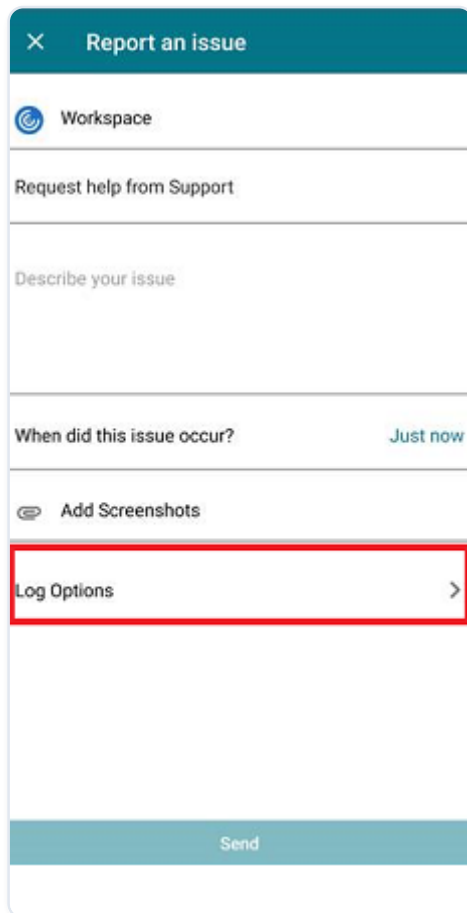
2. で、(ログを含む) をタップします。



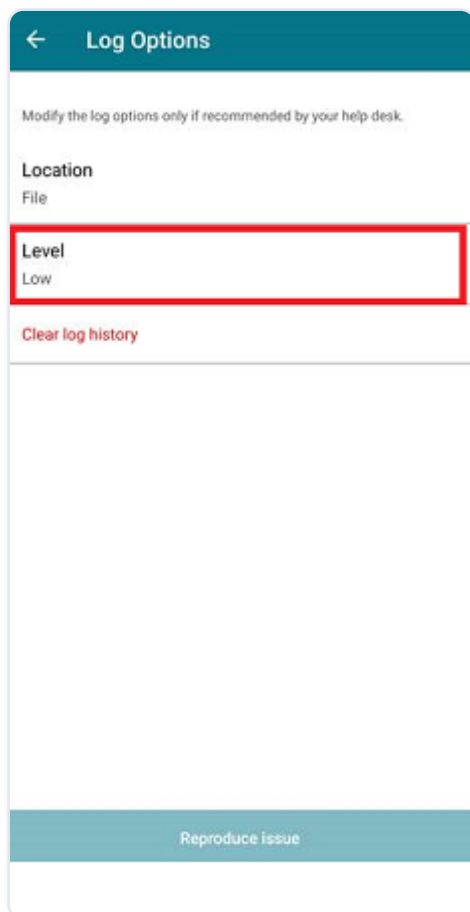
3. をタップします。



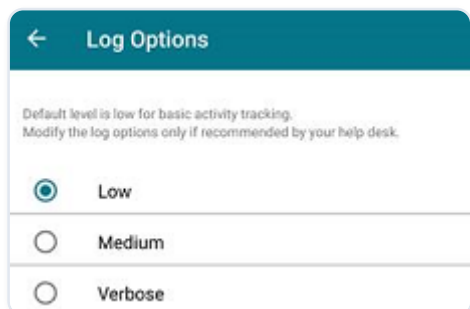
4. で、 をタップします。



5. 次に、 をタップします。



6. 、 、 または レベルを選択します。(デフォルトのレベルは、基本的なアクティビティ追跡のために低に設定されています。ヘルプデスクから推奨された場合にのみ、レベルを変更してください)。

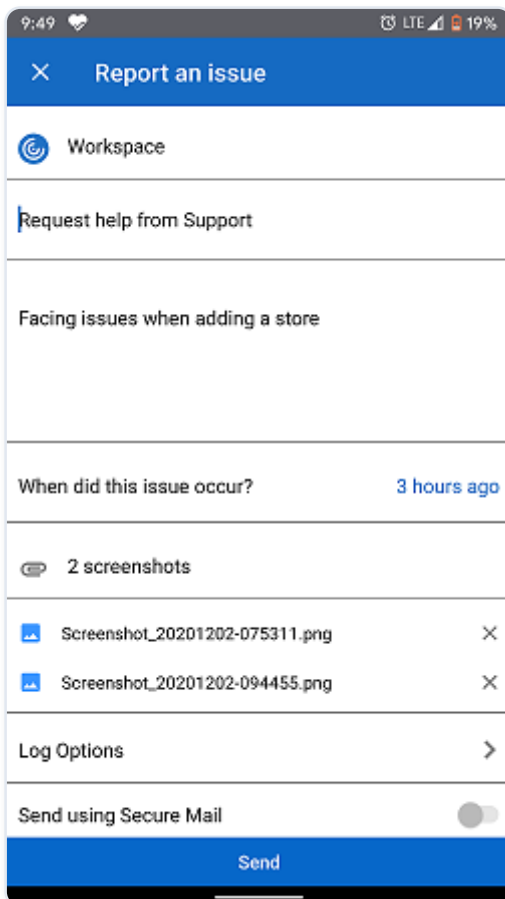


フィードバックを提供する方法

Citrix Workspaceアプリ for Androidに関するフィードバックを送信したり、同じインターフェイスを使用して問題を報告したりできます。フィードバックを送信するには：

1. >> をタップします。

ダイアログが表示されます。



2. 「問題を報告」ページを使用して、次のことができます。

- サポートにヘルプを要求する
- 問題を報告する
- 問題ログを送信する

注:

EARに関するフィードバックを提供したり、機能強化を要求したり、テクニカルプレビュー機能にアクセスしたりするには、製品ドキュメントの[トラブルシューティングセクション](#)を参照してください。

一般的な問題とトラブルシューティングのヒント

アプリストアでアプリケーションが利用できない

Android 用のcitrix-workspace-appをGoogle Playストアからインストールできない場合は、代替として[Citrix Downloads](#)ページからアプリをダウンロードできます。

インストールの失敗

Android TVでcitrix-workspace-appがデフォルトでサポートされていない場合は、[機能強化のリクエスト](#)を通じてお問い合わせください。

認証とストアの追加

認証またはストアの追加に関する問題が見られる場合は、以下を確認してください。

無効な入力

次を入力した可能性があります。

- 無効な資格情報
- ストアURLが正しくない
- 資格情報とストアURLの入力ミス
- HTTPSの代わりにHTTP.

Webインターフェイスモード

Webインターフェイスモードの使用も試すことができます。アプリの最初のページで、**開始**をタップします。ようこそページで、ストアURLを入力し、**アカウントの種類をWebインターフェイスとして追加**を有効にします。

Webインターフェイス(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/webinterface.png)

スマートカード

スマートカード認証が機能しない場合は、**baiMobile Credentials**アプリをインストールしてください。baiMobile Credentialsアプリがスマートカードを検出した場合は、詳細についてお問い合わせください。

baiMobile 認証情報(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/baimobile.png)

NetScalerポリシー構成

接続の問題をトラブルシューティングするには、Knowledge Centerの記事「[モバイルデバイス用NetScaler Gateway](#)」を参照してください。

セッションの起動

セッション統計を表示するには：

- セッションツールバーから、マウス ポインター アイコンを4回タップします

または

- セッションターミナルで `ctxsession -v` コマンドを実行します。

デスクトップの起動に失敗しました

仮想デスクトップの起動で問題が発生した場合は、以下のKnowledge Centerの記事が役立つかもしれません。

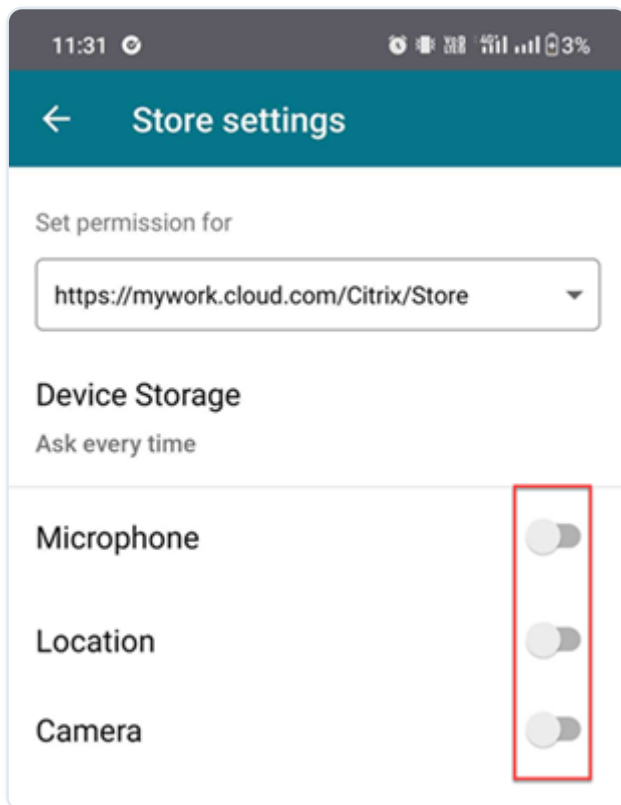
- エラーコード 2524
- エラーコード 2523
- エラーコード 2502
- エラーコード 2517

周辺機器にアクセスするための権限

適切な設定権限を有効にします。

クライアント選択的信頼

マイク、位置情報、カメラの設定を有効にします。citrix-workspace-appの**設定 > ストア設定**に移動し、選択したストアのCST設定を有効にします。



マウス ポインターを有効にする

セッションを開始した後、ツールバーをタップし、マウス ポインター アイコンをタップして、マウス ポインターを有効にします。

マウス ポインター アイコン(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/mouse-pointer-icon.png)

キーボードを有効にする

組織の管理者が自動キーボード表示機能をデフォルトで有効にしていない場合は、組織の管理者に連絡してサポートを依頼してください。

管理者は、DDC 設定で**自動キーボード表示ポリシー**を有効にする必要があります。

自動キーボード ポリシー(/en-us/citrix-workspace-app/android/media/automatic-keyboard-display-policy.png)

よくある質問

- 低電力デバイスまたはモバイルデバイス向けの仮想アプリおよび仮想デスクトップのビデオ ユーザーエクスペリエンスを向上させるにはどうすればよいですか？
 - 詳細については、[ビデオユーザーエクスペリエンス Knowledge Center](#) の記事を参照してください。
- リソースへのアクセス - citrix-workspace-app にサインインした後、アプリやデスクトップが表示されません。
 - 詳細については、会社のヘルプデスクまたは IT サポートチームの管理者に連絡してください。
- 低速な接続のトラブルシューティング方法？
 - 次のいずれかの問題が発生した場合は、回避策に従ってください。
 - Citrix Virtual Apps and Desktops サイトへの低速な接続
 - アプリケーションアイコンの欠落
 - 繰り返し発生するプロトコルドライバエラーメッセージ

回避策:

- 以下のネットワークインターフェイスで**Citrix PV Ethernet Adapter**のプロパティを無効にします:
- シトリックス バーチャルアプリ サーバー

- シトリックス セキュアウェブゲートウェイ
- ウェブインターフェース サーバー
- **Citrix PV Ethernet Adapter**のプロパティには以下が含まれます (すべてデフォルトで有効になっています):
- ラージセンドオフロード
- IPチェックサムオフロード
- TCPチェックサムオフロード
- UDPチェックサムオフロード

サーバーの再起動は不要です。この回避策は、Windows Server 2003および2008 32ビットに適用されます。この問題は、Windows Server 2008 R2には影響しません。

- 数字キーと特殊文字に関する問題
 - 数字キーまたは中国語IME文字が正しく機能しない場合は、**Unicode Keyboard**オプションを無効にしてください。そのためには、**設定 > キーボードオプション** に移動し、**Unicode Keyboardの使用** を **無効** に設定します。

エラーコード

以下の表にエラーコードと、考えられる解決策を示します。

エラーコード	ナレッジセンター記事
エラーコード 437	https://support.citrix.com/article/CTX463401
エラーコード 41E	https://support.citrix.com/article/CTX235177
エラーコード 546 または 547	https://support.citrix.com/article/CTX231798
エラーコード 518	https://support.citrix.com/article/CTX277571
エラーコード 42B	https://support.citrix.com/article/CTX260992
エラーコード 548	https://support.citrix.com/article/CTX250706
	https://support.citrix.com/article/CTX578359
サーバーアドレスが正しくありません + エラーコード 548	https://support.citrix.com/article/CTX554245

エラーコード	ナレッジセンター記事
エラーコード 451	https://support.citrix.com/article/CTX256708
一般的なエラー	https://support.citrix.com/article/CTX219073
もう一度接続してみてください	UDPオプションを無効にします。アプリの 設定 > 詳細設定 > EDT に移動します。

エラーと説明

次の表に、エラーとその説明を示します。考えられる解決策は、さらなる支援のために[Citrix Technical support](#)に連絡することです。

エラー	説明
SessionManager.Launch.EngineLoadFailed	ICAエンジンをロード/初期化できませんでした。
SessionManager.Launch.ConnectionFailed	接続する前にICAエンジンが終了しました。
SessionManager.Launch.LogonFailed	ログインを完了せずにセッションが切断されました
SessionManager.LeaseResolution.Failed	リース起動を試行できません。
SessionManager.clxmtp.SoftDeny	エンジンCLXMTPネゴシエーションに失敗しました（ソフト拒否）。
SessionManager.clxmtp.SoftDeny_Implicit	エンジンCLXMTP接続に失敗しました（暗黙のソフト拒否）。
Transport.Connect.NoCGP_Fail	接続に失敗しました（CGPが無効です）。
Transport.Connect.FallbackFail	接続に失敗しました。ICAフォールバックを試行しました。
Transport.Connect.Fail	接続が利用できません。

fix

This is the content for the sample heading topic. It is hidden from the main table of contents but remains accessible via links.